

第七十四回帝國議會 昭和十二年法律第五十七號中改正法律案
衆議院 (鐵ノ輸入税免除ニ關スル件) 外一件 委員會會議錄(速記)第十七回

會議

昭和十四年三月十三日(月曜日)午後三時五十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 八角 三郎君

理事寺島 權藏君 理事木村作次郎君

理事卯尾田毅太郎君 理事大内竹之助君

理事長谷 長次君

高橋壽太郎君 原 玉重君

川副 隆君 田尻 生五君

中田 儀直君 宮脇 長吉君

加藤 謙造君 小野 謙一君

出席國務大臣左ノ如シ

商工大臣兼拓務大臣 八田 嘉明君

出席政府委員左ノ如シ

商工政務次官 今井 健彦君

商工省鑛山局長 小金 義照君

商工書記官 山本 茂君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

帝國鑛業開發株式會社法案(政府提出)

○八角委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、政

府カラ提案ノ理由ヲ御説明願ヒマス

○八田國務大臣 帝國鑛業開發株式會社法

案ノ立案ノ根本趣旨ニ付キマシテハ、本會

議ニ於テ之ヲ申述ベテ置キマシタカラ、此

處ニハ同法案ノ内容ニ付テ其ノ大綱ヲ御説

明申上ゲ、提案ノ理由ヲ明ニ致シタイト存

ジマス、我國現下ノ時局ニ於キマシテ、銅、

鉛、亞鉛、錫、ニッケル等ヲ初メトスル一連

ノ所謂非鐵金屬ガ、國防經濟ノ運用上特別

ノ重要性ヲ有シテ居リマスルコト、竝ニ我

國ニ於ケル是等重要鑛物ノ需給狀態ハ、其

ノ需要額ガ飛躍的ナル増加ヲ示シツツアリ

マスルニモ拘ラズ、國內生産額ハ之ヲ充足

スルコト能ハズシテ、遺憾ナガラ相當多額

ノ數量ヲ海外ニ依存スルノ已ムナキ實狀ニ

在リマスルコトハ御承知ノ通りデアリマス、

是ガ爲政府ニ於キマシテハ、是等ノ重要鑛

物ニ付キマシテ、生産力擴充ノ計畫ヲ樹立

致シマスルト共ニ、是ガ目的達成ノ方策ト

シテ、前議會ノ御協賛ヲ經マシテ重要鑛物

増産法ヲ制定施行致シマシタルヲ初メト

シ、探鑛獎勵金ノ交付制度、其ノ他増産促

進ニ關スル種々ノ施設ヲ講ジテ、銳意目的

ノ達成ニ努力致シツツアル次第デアリマ

ス、併シナガラ何分ニモ其ノ増産ハ、劃期

的ナル數字ヲ目標ト致シテ居リマスルノ

デ、之ヲ實現致シマスル爲ニハ、更ニ増産

促進ノ方策ヲ強化致シマシテ、國內鑛物資

源ノ積極的開發ヲ圖リ、所謂休眠鑛區ノ動

員、低品位鑛石ノ活用等ニ、官民協力シテ

邁進致サネバナラスト存ズルデアリマス、

即チ帝國鑛業開發株式會社法案ハ、是等不

足重要鑛物ノ増産達成ノ爲ニ、所謂休眠鑛

區ノ開發、低品位鑛石ノ利用ヲ圖リマスル

ト共ニ、鑛山開發ノ基礎トナルベキ探鑛試

錐等ノ鑛床調査ニ關スル事項、或ハ増産資

金ノ融通等ヲ初メトシテ、重要鑛物資源ノ

開發ヲ圖リ、其ノ増産ヲ達成スル上ニ必要

ナル諸事業ノ經營ヲ目的トスル、帝國鑛業

開發株式會社ヲ設立セシメマシテ、本會社

ニ對シ政府ノ特別ナル保護助成ヲ與フルト

共ニ、十分ナル指導監督ヲ加フルコトヲ骨

子トシテ立案シタモノデアリマス、即チ本

法律案ニ於キマシテハ、第一ニ本會社ノ事

業ガ時局ニ即應シテ、短期間ニ重要鑛物ノ急

激ナル増産ヲ確保スルコト云フ、國家的要求ニ

基クモノデアリマスルガ故ニ、國家トシテ資

金のニモ關與スルコトガ必要デアルト認め、

政府ハ本會社ニ對シ資本金三千萬圓ノ中一

千五百萬圓ヲ出資致シマシテ、半官半民ノ

特殊會社ト爲スト共ニ、本會社ノ特殊性ニ

鑑ミ、其ノ株主タル資格ヲ制限致シタノデ

アリマス、第二ニハ、社債ノ募集ニ付テ商法

ノ特例ヲ設ケテ、其ノ發行限度ヲ拂込株金

額ノ五倍ニマデ擴張致シマシタルト同時ニ、

社債ノ元利ノ支拂ニ付テモ政府ニ於テ之ヲ

保證シ得ルコトトシ、以テ資金調達ヲ容易

ナラシムルト同時ニ、社債權者ヲ保護スル

コトト致シタノデアリマス、第三ニハ民間

出資ニ對スル利益配當ノ確保デアリマシテ、

本會社ガ相當ノ利益ヲ舉グルマデハ、政府

所有株式ヲ後配株トシ、民間出資ヲ優遇ス

ルト共ニ、本會社ノ配當シ得ベキ利益金額

ガ、民間出資ニ對シ一定ノ割合ニ達スルマ

デハ、一定金額ノ範圍内ニ於テ其ノ不足額

ヲ補給シ、以テ民間出資ニ對スル利益配當

ヲ確實ナラシメタノデアリマス、第四ニハ、

政府ハ本會社ニ對シ重要鑛物ノ増産上必要

ナル命令ヲ爲シ得ルコトニナツテ居ルノデ

アリマスガ、之ニ因ツテ生ジタル損失ハ、必

要ニ依リ國家ガ之ヲ補償スルコトト致シタ

ノデアリマス、第五ニハ、一定ノ期間所得

税、營業收益税其ノ他ノ課税ヲ免除致シマ

シテ、本會社ノ負擔ヲ輕減スルコトト致シ

テ居ルノデアリマス、第六ニハ、上述ノ如

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)
帝國鑛業開發株式會社法案(政府提出)

ク本會社ニ對シテ特別ノ保護ヲ加ヘ、之ヲ助成致シマスルト共ニ、本會社ノ設立ノ趣旨並ニ其ノ重大ナル使命ニ鑑ミマシテ、適當ナル指導監督ヲ行フコトガ必要デアルト認メラレマスノデ、一般ノ特殊會社法ニ規定シテアルヤウナ監督ニ關スル規定ヲ設ケタノデアリマス、尙ホ本會社ノ設立ニ關シマシテハ政府ニ於テ設立委員ヲ任命シ、本會社設立ニ關スル一切ノ事務ヲ處理セシムルコトト致シタ點モ、概ネ他ノ特殊會社ト同様デアリマス、何卒御審議ノ上御同意アラシコトヲ希望致シマス

○八谷委員 是ヨリ質疑ニ入リマス、其ノ前ニ大臣御出席ノ此ノ機會ヲ利用致シマシテ、大臣ニ御質疑ノアル部分ハ、特ニ順位ニ依ラズシテ先ニ御許スルコトニ致シマス

○長谷委員 私ハ巨細ナコトハ過般來色々ノ委員會ニ於テ局長ニ申上ゲテゴザイマスカラ、局長ヨリ御聽取ヲ願ヒタイノデアリマス、此ノ會社ノ持ツ目的ト云フモノハ、只今ノ御説明ニ依リマス、主トシテ多量ノ鑛石ヲ獲得シ、ソレヲ賣鑛、統制スルマデノ間ノ——簡單ナ言葉デ言フト、有ユル資源ヲ開發セシメ、サウシテ之ヲ集結スルト云フ所マデヲ目的トスルモノデアツテ、

後ノ製鍊カラ、ソレカラ其ノ鑛石コナスト云フ所ノ行キ方ハ主トシテ在來ノモノニ、在來ノ機能ヲ中心トシテ御考慮置キナツテ居ルヤウニ考ヘラレマスガサウ見テ宜シイノデゴザイマセウカ

○八田國務大臣 大體御話ノ通りデアリマス

○長谷委員 サウ御答辯ヲ得マス、一般民間側ガ何時モ苦痛ヲ感ジテ居ルノガ、又國家トシテモ是カラヤツテ行カナケレバナラヌ貧鑛ノ處理ト云フ風ナ問題、地方ニ分散シテ居ル休眠鑛、ソレカラ生産ノ引合ハナイト云フ小サナ鑛區、斯ウ云フモノノ開發ノ支障ガ何處ニアツタカ、具體的ナ事例ヲ申上ゲマスルト、運賃ノ爲ニ採算ガ合ハヌ、ソレカラ鑛石ノ品位ハ稍、良イノデスケレドモ、運賃ノ爲ニ採算ガ合ハヌ、ソレカラ量ガ少イ爲ニ、ソレカラ假ニ合フ鑛石ヲ持ツテ參リマシテモ、分析セラルル時ニ相當品位ヲ落サレルト云フ風ナ實情ガアツタリ致シマシテ、結局持ツテ行キマシタ所ノ、先ニ於ケル大企業家ガ爲ス所ノ一切ノ弊害ト云フモノヲ、相當監督ナサラナイトイケナイデヤナイカ、斯ウ思ハレマスガ、其ノ點ニ關シマシテ政府ハ斷平タル決意ヲシテ戴キタイト思ヒマス、アトラ鑛石ヲ持ツテ行キ

マシテモ、結局買フ方ノ側ガ横暴ニナリマス、集メヨウト云フ政府ノ意思ガ、全然矛盾シタ結果トナツテ現ハレテ來ル虞ガアリマス、其ノ細カイコトハ、是マデ私ガ過般來當委員會デ申シテ居リマシタカラ、ソレヲ局長ガ御聽取ヲ願ヒマシテ、自然ノ中ニ貧鑛石ガ集マルヤウニ、小サナ鑛區ノ持主ガ運シテ來ルヤウニヤツテ行カヌトイケナイト思ツテ居リマス、政府ノ今回ノ目的ハ、現在ノ機能ヲ擴充シ強化スルコトガ、一番合理的ダト述べタコトニ付テハ、吾々ハ贊意ヲ表スルモノデアリマス、此ノ點政府ノ御見解ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

○八田國務大臣 御話ノ如ク今日我國ニ於ケル主トシテ貧鑛殊ニ資金ノ十分デナイ企業者ノ苦シンデ居ル點ニ付テハ、只今御述ニナリマシタ諸點デアルト思フノデアリマス、今回ノ此ノ會社ノ法案ハ、サウ云フ點ヲ出來ルダケ救済ヲシ、サウシテ我國獨特ノ鑛山開發ヲ遂ゲタイト云フ考デアリマス、御話ノ中ニアリマシタヤウニ、自然ニ鑛石ガ製鍊所ニ集マルヤウニスルト云フコトハ、ソレハ大變大事ナ點デアルト思ヒマス、全ク御同感デアリマス、今後其ノ積リデヤリタイト思ツテ居リマス

○長谷委員 第十一條ノ三號ニ付テハ、今

大臣ガ御答辯ニナツタ點ノコトヲ記載シテ居ルモノデアルト考ヘテ居リマス、更ニ第十一條ノ六號ニハ「重要鑛物ヲ目的トスル鑛業又ハ製鍊業ニ對スル資金ノ融通又ハ投資」トナツテ居リマスガ、此ノ項目ニ關聯シテ第十二條ガゴザイマス、ソレデ私共ノ心配致シマスノハ、此ノ第一號カラ第六號マデ拜見致シマシテモ、此ノ點ノ解釋ガ付キ難イ事實ガ一ツアル、其ノ一ツトシテ申上ゲルノハ、休眠鑛ノ開發ト云フコトヲ今大臣ガ申サレマシタガ、其ノ休眠鑛ノ開發ト云フモノガ非常ニ大切デアリマシテ、事ニ依ツタラ政府ガ肚ヲ決メラレテ、ドレダケ言ウテモ分ラヌモノハ大執行ヲシナケレバナラス、是ハ一寸亂暴ナ言葉カモ知レマセヌ、是ハ此ノ中ニ明記ハサレテ居リマセヌガ、何等カノ方法ニ依ツテ、政府ノ方デ他ノ法條トモ合セテ、此ノ法文ニモヤハリ關係シタコトガナケレバナラスノデハナイカト、斯ウ考ヘテ居リマスガ、其ノ點如何デスカ

○小金政府委員 其ノ點ニ關シマシテハ、從來重要鑛物増産法ヲ施行致シマシテ、其ノ適用ニ期待スル所モアツタノデゴザイマス、併シナガラ同一ナル資格、同ジヤウナ民間ノ會社ノ間、或ハ個人ノ間ニ於キマシ

テハ、重要礦物増産法ハ、中々アノ規定ニ定メテ商工大臣ノ裁決トカ、決定トカ、裁判所ノ判決ト云フヤウナモノヲ求メルマデニ行キ難イノデアリマス、唯アノ規定アルガ爲ニ、ソコマデ行カズニ話ガ付キ、増産設備ヲシ、或ハ新ニ著手ヲスルト云フヤウナ實例ハゴザイマシタガ、ヤハリ休眠鑛區ヲ此ノ際活用致シマス爲ニハ、ドウシテモ特殊ノ機構ヲ持ツタ鑛山開發事業者ガ必要ダト云フ結論ニ到達致シタノデアリマス、ソレガ本法律案ヲ政府ガ提出セラレル理由ノ主ナル一ツト存ズルノデアリマス、ソコデ此ノ會社ニ對シテハ、重要礦物増産法ノ適用ヲ相當期待致シテ居リマス、ソコデ今長谷サンノソレニ關聯シテノ御心配ノ、然ラバ此ノ會社ハ餘程政府カ「バック」ヲシテ、相當ナ突進シタ開發ヲスルヤウニ仕向ケナイ限リハ、ヤハリ大シタ實效ヲ期シ得ナイノデハナイカト云フコトデアリマスガ、洵ニ御尤デアリマシテ、其ノ關係ニ於キマシテ、此ノ帝國鑛業開發株式會社法案ノ第二十四條ノ規定ガソレニ入ツテ居ル、ソレヲ含メテ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○長谷委員 其ノ點ハソレダケニ致シマシテ、先般來是非共大臣ニ申上ゲタイト思ツテ居ル最後ノ問題ヲ申上ゲテ置キマス、是

ハ鑛業一般ニ對スル問題デアリマスカラ、大臣カラ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレハズツト斯ウ云フ風ニシテ戰時體制下ニ、特ニ商工立國ト云フヤウナ實質的ナ考ヲ私共ハ持つテ來テ居ルノデアリマスガ、商工技術ヲ基礎トシテ日本ノ生キタ行キ方ヲシテ行カナケレバナラナイト、斯ウ思ツテ居リマス、商工立國ノ立場カラ見テ、是ガ日本ノ手足トナツテ動ク所ノ審議會ナリ、研究所ナリ、試驗工場ト云フヤウナ所ハ、綜合的ニ國家的ニ爲サレテ居ラヌト云フコトハ、過般私ハ大臣ニ本會議デ申上ゲタ所デアリマス、現在ハ色々ノ惡イ條件ガアリマシテ、特殊ノ事情ノ下ニ、成程材料モ外國カラ取ツタリ、又日本ノ技術ガ進マヌガ爲ニ、製品マデモ外國カラ買ハナケレバナラヌヤウニナツテ居リマス、併シ此ノ特殊事情ガ永久ニ望ヲ囑スルモノデナイト云フコトハ、私共ハ疑ナイト考ヘテ居リマス、ソコデ此ノ惡イ條件ノ下ニ、尙ホ且ツ日本ノ進ムベキ商工立國ノ國策ト云フ風ナモノヲ、自ラ進メテ行カナケレバナラヌト考ヘマス、即チ此ノ日本ノ産業革命ノ基礎ヲ成スモノハ、全ク此ノ大國策研究所ト併行スル所ノ審議會、所謂國策的審議會ト云フヤウナ、大キナモノガ出來ナケレバナラ

ヌト思フノデアリマス、何故ニ斯様ナコトヲ申上ゲルカト申スト、商工大臣ハ國務大臣トシテ閣議ニ御列席ニナツテモ、中々他官省トノ間ニ御議論ノ衝突ニナル部分ガ相當アツタト存ジマス、是ハ企業院デモサウデスガ、企業院ガ如何ニ御努力ニナツテモ、農林省ハ農林省、商工省ハ商工省ト、ソレゾレノ立場カラ、何レモ自分達ノ方ノ省ト云フ概念ヲ離レナイデ、常ニ角牛ノ爭ヲヤツテ居ル、ソコデ企業院ノ計畫自體ニ付テモ非常ニ脆弱性ガ現ハレテ來テ居ル、斯様ナコトニナツテ居リマス、更ニ又學者モ研究所モ、是ガ皆バラ／＼ニナツテ居リマスカラ、良イモノガアツテモ綜合サレテ居リマセス、今日日本ヲシテドウ云フ方向カラ國內改革ヲヤツテ行カナケレバナラヌカト云フト、私共ハ日本ノ國內改革ト云フモノハ、産業革命以外ニハナイト思フ、如何ナル革新政治モ、此ノ産業革命ニ越ス順當ナヤリ方ハナイト考ヘテ居リマスガ、サウ云フヤウナ氣持デ私ハ申上ゲテ居ルノデアリマス、全ク日本ガ要求スル所ノ資材ト云フモノハ、是ハ全部國內ノ資源ヲ以テ自給自足出來ルヤウニ計畫ヲ立テテ行カナケレバナラス、サウ云フ立場カラ見テモ、是カラズツト永久ニ日本ノ姿ト云フモノヲ世界ニ

顯ハシテ行カナケレバナラヌ、左様ナ點カラ見テモ、日本ノ獨特ノ綜合シタ、而モ多クノ人達ノ力ト云フモノノ完全ニ融和セラレタ行キ方、是ガ産業ノ上ニ持ち來ラレナケレバナラス、即チ茲ニ全國的ナ一ツノ大キナ國策ノ研究所ナリ、或ハ試驗場、ソレヲ審議スル所ノ國策審議會ト云フヤウナモノガナケレバナラス、是ハ僅ナ例デアリマス、此ノ間モ新聞デ拜見シマス、企業院ニモサウ云フモノガアル、科學審議會モアルト云フコトデアル、更ニ文部省ニ於テモ科學審議院トカ何トカ云フモノガ出來テ來ルトノコトデアリマス、即チ文部省ハ文部省デ科學審議院ヲ作り、更ニ國家ハ國家トシテ科學審議會ヲ作り、又企業院ハ企業院デ科學審議院ヲシテ居ル、斯ウ云フ三本モ四本モ立テタ行キ方ヲスルト、ヤレ問題ガ出ルト、文部省ノ答申案ガ出ル、ヤレ商工省ノ答申案ガ出ル、企業院ノ答申案ガ出ル、斯ウ云フ風ニ各ノ牙城ヲ守ツタ答申案ガ出ルト云フコトデ、日本ノ本當ノ進ムベキ途ガ阻碍サレテ居ル、ソコデ國務大臣ト致シマシテ、十分此ノ點ニ對シテ、此ノ際思切ツテ日本ノ姿ト云フモノヲ見付ケ出ス所ノ審議會ヲ御作りニナツタラドウカ、是ハ他ノ如何ナル革命的ナ國內改革ヨリモ、自然

ニ國內改革ヲサセル最善ノ方法ト考ヘテ居
リマスガ、商工大臣ノ明快ナル御答辯ヲ此
ノ際伺ツタラ幸ト存ジマス

○八田國務大臣 我國ノ工業ヲ確立致シテ
參ルコトハ、ドウ致シマシテモ科學的ナ審
議機關ト研究機關トガナクテハナラナイト
云フ御説ニ付テハ、全ク御同感ニ考ヘルノ
デアリマス、現在我國ニモ官私各方面ニ研
究所ガアリマスガ、是等ノ研究所ハ、動モ
スレバ研究ノ爲ノ研究ト云フヤウナコトニ
陥リ易イ點ガ多クアラウト思フノデアリマ
ス、或ハ又研究サレタ結果ガ綜合的ニ利用
サレマスト非常ニ有效ナモノガアルニモ拘
ラズ、其ノ部分ダケデ考ヘルト、ソレハ大
シタ研究ノ結果ヲ得ナイト云フコトニナツ
テ居ル、又他ノ方面カラサウ云フ研究ガア
ツタト云フコトヲ知ルモノガアレバ、ソレ
ハ非常ニ役立ツヤウナコトガアルニモ拘ラ
ズ、是ガ綜合的ニ統一サレスト云フカ、利
用ヲスルコトガ統一的ニナツテ居ラスガ爲
ニ、動モスルトソレガ棚ニ取殘サレテ居ル
ト云フヤウナコトガ、現在デモ相當アルト
思フノデアリマス、隨ヒマシテ今日最モ大
切ナルコトハ、現在アル研究所ノ研究ノ結
果ヲ最モ有效ニ、現在ノ眼ノ前ノモノニ活
用スルト云フコトガ第一ニ必要ダト思フ、

ソレカラモウ一ツハ、研究ノ爲ノ研究ト云
フヨリモ——ソレモ必要デアリマス、絶エ
ザル研究ヲ續ケテ行クコトモ必要デアリマ
スガ、今眼ノ前ノ緊急トスル所ノ問題ヲ捉
ヘテ、特ニソレニ力ヲ入レテ研究スルト云
フコトガ非常ニ必要ダト思フ、ソレガ爲ニ
ハ例ヘバ今日生産力擴充ナラ生産力擴充ニ
付テ、或ル物資ヲ増産セントスル場合ニ、
途中ニ於テドウモ此ノ點ニ何等カ別ノ方法
ヲ持ツテ來ナケレバ、現在ノ物資ナリ或ハ
方法デハ、連モ目的ガ達セラレスト云フ場
合ニ、其ノ「ポイント」ニ對シテ特別ナル研
究ヲスルコトガ、私ハ非常ニ有效デアルト
思フ、ソレガ爲ニハ只今御話ノヤウナ、何
ト申シマスカ、サウ云フ意味ノ研究所、研
究所ハ分レテ居ツテモ宜イノデアリマスガ、
其ノ研究所ヲ國策ニ副フヤウニ、緊急ノ問
題ヲ解決センガ爲ニ指導スル研究所、ソレ
ヲ假ニ國策研究所ト考ヘテ見レバ、其ノ國
策研究所ガ非常ニ必要ナモノダト考ヘマス、
而シテソレヲ他ノ國策ト更ニ連關シテ行ク
ト云フ上ニ於テ、審議會ト云フモノハ大變
結構ナコトト思フノデアリマス、洵ニ御同
感デアアルノデアリマス、唯此ノ問題ハ、私
ガ此處デ同感ダト云フコトヲ御答シタダケ
デ、ソレガ實現スル譯ノモノデハナイノデ

アリマスカラ、此ノ點ハ機會ヲ見マシテ、
吾々モ十分其ノ目的ヲ達スルヤウニ努メテ
見タイト考ヘテ居リマス
○長谷委員 大臣ノ只今ノ御答辯デ私ハ滿
足デスケレドモ、閣僚ノ中デ「エンヂニヤ」ノ
立場ニ立タレテ居ルノハ、珍シクモ現在ノ
大臣中アナタ唯一人デス、今日工業技術ノ
點カラ發言ヲシ得ル所ノ大臣ハアナタ一人
デスカラ、セメテサウ云フ點ニ於テ、此ノ
非常時下ニ於ケル閣内ノ有力ナル推進力ト
ナツテ、生産擴充ニ引ツ張ツテ行ツテ貰ヒ
タイト斯ウ考ヘテ居リマス、若シサウ云フ
ヤウナ方面デ御努力ナサツテ、萬一不十分
ナ所ガアツタラ、何時デモ吾々ハ大馬ノ勞
ヲ執リタイト考ヘテ居リマス、技術家ノ立
場ニ居ラレル所ノ大臣ガ、今一番必要ナ時
デハナイカト思ツテ居リマス、其ノ發言ガ
閣内ニ十二分ニ效果ヲ現ハス所ノ現在ノ時
局デハナイカト、私ハ斯ウ思ツテ居リマス、
ガカラ大臣ハ此ノ際忌憚ナク閣議ノ席上ニ
於テ、御自分ノ意見ヲ通シテ行カナケレバ
ナラス時代デハナイカト斯ウ思フカラ、私
ハ今申上ゲタ、大臣御一人ガ日本ノ工業ヲ
背負ツテ立タレタラソレデ宜イデハナイ
カ、閣議ノ發言ダツテ、此ノ頃ハ専門的ニ
ナツテ居ルカラ、大臣ガ斯ウト言ハレタラ、

後ノ人達カラ文句ヲ言ハレル筋ハナイ、今
ノ企畫院ノヤウニ、内部關係デオ互ガ各省
ノ分ヲ守ツテ争ツテ居ルヤウナ行キ方デ
ハ、全然駄目デス、頭ゴナシニ閣議ノ席上
デ大臣ガ發言サレテ、閣議ヲ引ツ張ツテ
行クダケノ御努力ヲ願ハスト、此ノ時局ニ
アナタガ大臣トシテ、而モ工業方面ノ大臣
トシテノ一番大切ナ自己ノ職責ニ反スルト
思フ、是非發言シテ、其ノ發言ガ效果的
ニ現ハレルヤウニ御努力ヲ願ヒタイト思フ、
斯様ナ席ヲモ憚ラズ申上ゲテ、大臣ニ對シ
テ特ニ希望致シテ私ノ質問ヲ終リマス
○八角委員長 高橋壽太郎君
○高橋(壽)委員 大臣ニ二三點伺ヒタイノ
デアリマス、先程本法案提案ノ理由ヲ御述ニ
ナリマシテ、國內ニ於ケル重要礦物増産ノ
緊急ニ必要ナルコトヲ強調力説サレタコト
ハ、私共同ヒマシテ大イニ贊意ヲ表スルノ
デアリマス、隨ヒマシテ其ノ國策實現ノ一
方法手段トシテ、茲ニ帝國礦業開發株式會
社ガ出現シタノデアリマスカラ、此ノ會
社法ノ適用活用ニ於テハ、政府ハ極メテ放膽
デアリ、積極的デアルト云フコトヲ、私共ハ
想見スルニ難クナイノデアリマス、唯茲ニ
伺ツテ置キタイト思ヒマスコトハ、第三條
ノ資本金三千萬圓デアリマス、是ト略、同

様ノ仕事ヲ致サウトスル日本産金振興會社ノ資本金ハ五千万圓デアリマス、謂ハバ海軍ノ言葉デ言フナラバ、五對三デアリマス、ドウ云フ譯デ此ノ五對三ノ比率ヲ御採リニナツタカ、吾々ハ金以外ノ重要礦物ノ產出額カラ云ツテモ、決シテ金ニ五ヲ讓ツテ、三ヲ其ノ他ガ採ルベキモノデハナカラウト思フノデアリマスガ、如何デゴザイマセウカ

○八田國務大臣 只今ノ御説ハ、資本金ガ少イト云フ點ヲ主トシテ御指摘ニナツタノデアリマスガ、實ハ多々益々辨ズル譯デアリマスガ、今回ハ三千万圓トシテ提案致シマシタ、併シ御承知ノ通り、社債ノ發行ノ額モ五倍ト云フコトニナツテ居リマスシ又必要ニ應ジマシテハ、更ニ資金ノ増大モ出來ル譯デアリマスルノデ、只今ノ所デハ之ヲ以テ出發致シタイト斯ウ考ヘテ居リマス、ソレカラ産金會社トノ比較デアリマスガ、産金會社ノ方ハ主トシテ資金ノ貸付、融通ト云フ方ガ主ナル目的ニナツテ居リマス、此ノ方ハ實際仕事ヲスルト云フ方面ニナツテ居ルヤウナ次第デアマス

○高橋(壽)委員 今ノ御答辯ハマダ附ニ落チナイ所ガアルノデアリマスケレドモ、此ノ程度ニ於テソレハ後廻シニ致シマス、次

ニ伺ヒタイコトハ重要礦物増産ニ對スル國民精神總動員ト申シマスカ、サウ云フ所ガ或ハ缺ケテ居リハシナイカ、各地方デハ鑛山ナリ或ハ製鍊所ナリガ出來マス、直グ鑛毒問題ヲ頭ニ持ツノデアリマス、是ハ從來サウ云フ慘害モアツタノデアリマスカラ已ムヲ得ナイノデアリマスガ、今日ハ相當鑛毒防止ノ方法手段ガ積ンデ、從前トハ全ク格段ノ差ガアルヤウニナツタニモ拘ラズヤハリ古イ見聞ヲ基礎ニシテ、兎角斯ウ云フ事業ノ開發ニ障礙ヲ及ボスヤウナ風潮ガ甚ダ多イノデアリマス、是ハ畢竟スルニ國家的見地カラ、或ル程度マデ少々ノ無理ヲシテモ、此ノ軍需品充實ノ爲ニ重要礦物ノ増產ヲ圖ラナケレバナラスト云フ意思ガ國民ノ間ニ徹底シナイノデ、兎角斯ウ云フ問題ガ起リ易イト思ヒマス、而モ其ノ間餘リ好マシクナイ策動ヲスル向モナイデハアリマセスカラ、之ニ對シテ政府ガ一ツ國民精神總動員ノ一部トシテ、重要礦物増産ハ國家的見地カラ大イニ此ノ際努力シナケレバナラスト云フ趣旨ヲ明ニセラレタイト思ヒマスカ、大臣ノ御所見ハ如何デアリマスカ

○八田國務大臣 只今御話ノ點ハ大變良イ御考デアルト考ヘマスノデ、吾々モサウ云フコトニ努メテヤリタイト思ヒマス

○高橋(壽)委員 大臣ニ對スル質問ハ是デ終リマス、次ニ只今モ大臣ニ御尋致シマシタケレドモ、資本金三千万圓ノ件ハハツキリト致シマセス、社債發行ノ方モ、ヤハリ産金會社モ同様ニ資本金ノ五倍マデ發行スルヤウナ風デアリマスカラ、要スルニ五ト三トノ説明ニハ私ハナラスト思ヒマスガ、之ニ付テ後程デモ宜シウゴザイマスカラ、政府委員カラ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス、次ハ第二十四條デアリマスガ、是ハ産金振興株式會社法中改正法律案ノ際ニモ此ノ點ニ觸レマシテ、同ジヤウナコトデアリマスカ、前回ノ質問デドウモ此ノ「補償金ノ總額ガ帝國議會ノ協贊ヲ經タル金額ヲ超エザル範圍内ニ於テ之ヲ爲スコトヲ要ス」ト云フ點ノ後ト先ガハツキリ致シマセス、ドウ云フヤウニ處理サレルノデアリマスカ、此ノ事ハ後デ會社ニ對シテ清算シテヤルト仰セラレルノデアリマスガ、凡ソノ見當ガ付イテ居ラナケレバ、積極的ニ會社ヲ御指導ニハナレタイト思フ、此ノ點モ後程デ宜シウゴザイマス、御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○小金政府委員 高橋サンノ御質問ノ第一點ニ付テ、大臣ガ大體ミノ所ヲ御答ニナリマシタガ、之ヲ更ニ分解シテ申上ゲマス、斯

ウ云フ趣旨ノ事業ヲヤリマスノニハ、資金ハ多々益々辨ズルコトハ勿論デアリマスガ、日本産金振興株式會社トノ比較ニ於テ、彼ハ五デアリ、是ハ三デアルト云フヤウナ點カラ見ルト、聊カ不審ノ感ヲ起シハシナイカ、吾々モ斯ウ思フデアリマス、高橋サンハ恐ラク折角斯ウ云フ計畫ヲシテモ資本金ガ足ラナイヤウナコトガアツテハ困ル、或ハ資金ニ於テ缺クル所ガアツテハ困ル、或ウト云フ御心配ダラウト思ヒマス、私共モ其ノ點ヲ大分研究致シマシタ、所ガ半官半民ノ會社ニナリマス、國庫ノ都合モゴザイマス、又例ヘバ後ノ御質問ニアツタヤウニ、二十四條ヲ活用スルヤウナ場合ノ最後のナ覺悟モシナケレバナリマセスノデ、色々ナ點ヲ考慮致シマシテ三千万圓ト云フコトニ決ツタノデアリマス、而シテ其ノ主ナル理由ハ、大體帝國鑛發會社ハ一應計畫トシテ、初メ考ヘテ居リマシタ外地ヲ除イタ——外地ハ外地トシテ改メテ別ニ斯ウ云フ重要礦物増産ノ計畫ヲ立テルト云フコトニ致シマシテ、ソコデ先ヅ其ノ分トシテ考ヘテ居ツタモノハ、一應資金計畫カラ之ヲ除イテ宜シイト云フコトガ一點デアリマス、他

ノ一點ハ、日本産金振興株式會社ハ鑛山業モ營ミ得ルシ、製鍊業モ營ミ得ルノデアリ

マス、何レニシテモ産金資金ノ融通ヲ主眼ト致シテ居リマス、隨ヒマシテ其ノ事業資金モ亦必然的ニ相當ナルモノヲ用意シテ置ク必要ガアルノデアリマス、所ガ本會社ハ色々ナ事業ヲ爲ス中、勿論資金ノ融通等モ其ノ事業ノ主要ナルモノノ一ツデアリマスガ、主ナル重點ヲ休眠ノ鑛區ノ開發、低品位鑛石ノ活用ト云フヤウナ所ニ置イテ居リマス、隨ヒマシテ此ノ會社ノ要スル金ハ、元來ガ事業資金ヲ主ニスル傾向ヲ持ツモノデアリマス、サウ云フヤウナ關係デ、前者ノ方ガ餘程幅ヲ廣ク資金トシテ取ツテ置ク必要ガアリマス關係ニ立ツ譯デアリマス、特ニ資金ノ關係ニ於キマシテハ、一方日本興業銀行等ニ於テ相當金融的ニ資金ヲ放出スル計畫モアリマスノデ、彼此考合セマシテ、一應此ノ程度デ其ノ事業ニ出發スルト云フコトデゴザイマス、三千万圓ノ外ニ五倍、一億五千万圓、合計一億八千万圓バカリノ金ヲ使フコトガ出來ル計畫ニナツテ居リマス、御質問ノ第二ノ點、即チ本會社法案第二十四條ノ主トシテ二項三項ノ關係デゴザイマスガ、第二項ハ「重要鑛物ノ増産上必要ナル命令ヲ爲シタルトキハ政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ニ因リ生ジタル損失ヲ補償ス」、第三項ハ「前項ノ補償ヲ伴フベキ命

令ハ之ニ因リ要スベキ補償金ノ總額ガ帝國議會ヲ協賛ヲ經タル金額ヲ超エザル範圍内ニ於テ之ヲ爲スコトヲ要ス」、斯ウ云フ建前ニナツテ居リマスノハ、日本産金振興株式會社法ノ、今回ノ第二十五條ノ第二項及ビ第三項トシテ附加ヘラレタ條文ト略、同様デアリマスガ、第三項ノ帝國議會ノ協賛ヲ經タル金額ノ問題デアリマス、是ハ大體ニ於テ此ノ會社ト政府トノ間ニ於テ、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ト云フ豫算ニ於テ御協賛ヲ經テ居ル範圍内ニ於テ、政府ハ此ノ會社ヲ活潑ニ動カスヤウナ重要鑛物増産上ノ必要ナル命令ヲ出ス、斯ウ云フ關係ニ立ツノデゴザイマス、隨ヒマシテ此ノ第二十四條第三項ノ規定ニ依ル帝國議會ノ御協賛ヲ經ベキ金額ガ問題ニナルノデアリマス、之ニ付キマシテハ國情ニ鑑ミマシテ出來ルダケノ豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ニ基ク支出ノ御協賛ヲ得タイト考ヘテ居リマス、ドウカサウ云フ點ニ付キマシテモ十分各方面ノ御支援ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

ト云フノデ、三千万圓デ宜カラウト云フ御話デアリマス、併シ鐵ト石炭ヲ含ム鑛山ノ開發ヲスルト云フコトニナリマス、下手ナ銅製鍊ヨリモ多額ノ資本ガ固定スルノデハナイカト私ハ思ヒマス、例ヘバ石炭ヲ一噸ヲ出スニハ、開發ノ資金ガ二十圓トカ三十圓トカ掛ルト云フコトデアリマスカラ、假ニ年ニ十萬噸出スト云フコトニナリマス、モウソコニ二三百萬圓ノ固定資本ガ要ルト云フコトニナツテ來マス、鐵、石炭ハ強ヒテ含マナイト云フコトハ、新聞ニハ載ツテ居リマスガ、此ノ條文ニハサウ云フコトモナイヤウデアリマス、旁、三千万圓ヲ以テ足レリトスルト云フ御説明ニハ承服シ兼ねル點モアルノデアリマス、又第一條ヲ見マス、ト「帝國鑛業開發株式會社ハ重要鑛物ノ資源ノ開發ヲ促進シ」トアリマシテ、今局長ノ御話ノアリマシタヤウニ、内地ダケダト云フヤウナコトハ何處ニモナイヤウデアリマス、帝國ト云ヘバ日本帝國、内地モ外地モ含ムノデアリマスカラ、此ノ名前ノ下ニ「カバ」サレルモノハ、外地ヲ除クト云フヤウナコトハ私共ノ意識ニ上ツテ來ナイノデアリマス、ソレカラモウ一ツ申上ゲタイコトハ、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ支出ノ協賛ヲ受ケルト言ハレマスガ、サウスレバ昭和十

四年度分ハ、今議會ニ於テ議會ノ協賛ヲ得ナケレバナラスヤウニ考ヘラレマスガ、此ノ點ハ如何デアリマセウカ

○小金政府委員 此ノ會社ノ資本金ノ問題ニ關聯シテデアリマスガ、一言附加サセテ戴キマス、ソレハ第一條ニ重要鑛物ト書イテゴザイマスノデ、鐵、石炭ヲ敢テ除外スルモノデハナイコトハ明瞭デアリマス、唯鐵ニ付キマシテハ、日本製鐵株式會社ヲ督勵シテ、出來ルダケ國策ニ副ウテ犠牲モ拂ハセルト云フヤウナ考ヲ持ツテ居リマス、之ニ付キマシテハ尙ホ御議論モアルカト存ジマスガ、又此ノ會社ガヤツテハナラスト云フコトモゴザイマセス、石炭ニ付テモ同様デアリマス、石炭ニ付テ斯ウ云フヤウナ特殊會社ヲ作ラウト致シマス、是ハ三千万圓ヤ五千万圓デハ到底問題ニナラスノデアリマシテ、現在ノ石炭ノ企業形態カラ行キマシテ、此ノ會社ヲ利用スルコトハサウ澤山ナイ、隨テ一應ノ計畫トシテハ餘リ勘定ニ入レテ居リマセス、唯石炭ノヤウニ埋藏量ガ割合ニ計算シ易ク、確定礦量ガ勘定出來易イモノニ付キマシテハ、日本興業銀行ヲ初メトシテ澤山ノ大銀行ガ隨分資金ヲ放出致シテ居リマス、サウ云フヤウナ關係デ一應斯ウ云フヤウナ資本金ニ落付イタノデアリ

マシテ、此ノ法律全體カラ外地ヲ除クト云フ意味ハ毛頭現ハレテ参リマセヌ、唯此ノ

法律ヲ施行スル範圍ノ問題ニナルノデアリマスガ、今ノ所本法ヲ施行スル範圍ガ、一應外地ハ除カレテ居ルト云フ意味デアリマシテ、外地ニ對シテ資金ノ融通ヲ爲シ、或ハ其ノ他ノ事業上ニ關係ヲ持ツト云フコトハ、法理論トシテハ必ズシモ排除サレナイノデハナカラウカト思ヒマス、帝國以外ノ問題ニ付テモ同様ナ意見ガ立ツノデハナイカト思ハレマス、ソレカラ此ノ法律案ノ第二十四條ノ補償スベキ金額ニ付テ、十四年度ノモノガ此ノ追加豫算ニ計上セラレルカト云フ御質問デゴザイマスガ、是ハ第二項ノ政府ガ重要礦物ノ増産上必要ナル命令ヲ爲ス決心ヲスルカドウカニ依ルノデアリマス、只今ノ所本會社ノ設立計畫等ハ一應十月一日ト云フコトニナツテ居リマス、是ハ出來ルダケ早クヤル豫定デアリマスガ、サウ云フ風ニナツテ居リマシテ、政府ハ第二項ノ命令ヲ出シマシテモ、此ノ會社ノ陣容ヲ整ヘル方ニ努力スベキデアリマスカラ、割合ニ效果ガ擧ラナイト云フ見地カラ、此ノ帝國議會ノ開會中ニハ、其ノ豫算ハ提出サレナイモノト存ジマス、第二項ノ命令ヲ出ス準備ト兼合ヒマシテ、サウ云フ豫算ガ

御協賛ヲ經ベク帝國議會ニ提出ニナルコトト存ジマス

○高橋(壽)委員 只今ハ第二十四條ノ第二項ニ關スル必要ナル命令ヲ爲スマデニ進ムト云フ御意見デアリマシタガ、政府ハ此ノ法案ヲ以テ國家ノ急務ニ赴クト云フノデ、重大ノ關係ヲ持ツノデアリマスカラ、豫想シ得ル限度ニ於テ、多少ナリトモ豫算ニ計上サレテ置クト云フコトガ宜カラウト思ヒマス、子供ハ生レタバカリダカラ、著物ヲ著セナクテモ宜イト云フモノデハナク、チャント産衣ヲ拵ヘテ子供ノ生レルヲ待ツト云フ用意ガアツテ然ルベキデアルト思ヒマス、併シソレハソレデ終リマスガ、第十二條ノ「日本興業銀行ハ前條第一項第六號ノ事業ニ關シ帝國礦業開發株式會社ノ業務ノ一部ヲ代理スルコトヲ得」トアリマスガ、是ハ開發ノ資金ヲ出スト云フコトガハツキリトナツテ居リマスカドウカ、興業銀行ハ既ニ開發サレタ山ニシテ見込ノアルモノニ限リ融通スルト云フヤウナ普通銀行ノ立場ヲ執ツテ居リマスガ、ココニ言フ資金ノ融通又ハ投資ト云フコトハ、開發資金マデモ含ム、又開發サレル見込ノアル山ニハヤル日本興業銀行ヲ強制ト申シマスガ、サウ云フ風ニ指導サレル御意見デアリマスガ、ソ

レヲ伺ヒタイ

○小金政府委員 此ノ法律案ノ第十二條ノ第一項ノ規定ハ、業務ノ一部ヲ代理スルコトデアリマスカラ、自分デ危險ヲ負擔シテ資金ヲ貸付ケル場合ニ於キマシテハ、日本興業銀行ガ自分デ考ヘテ出スコトト存ジマス、是ハ何處マデモ業務ノ一部ノ代理デアリマスカラ、貸付金ノ元利トカ、金錢收受事務トカ云フヤウナコトノミニ限定セラレルコトト思ヒマス、御承知ノ通り日本興業銀行ハ、九州或ハ北海道ニ於テモ實例ガアルカモ知レマセヌガ、石炭其ノ他、今高橋サンノ仰セニナリマシタ、極メテ安全性ノアル確定シタヤウナモノニ對シテ、相當礦山ニモ融資致シテ居リマスノデ、サウ云フ關係カラ、此ノ會社ガ全地域ニ互ツテ支店等モ置キ得ナイノデ、日本興業銀行ヲ利用スルコトニナツテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ此ノ第十一條第一項ノ第六號、即チ「重要礦物ヲ目的トスル鑛業又ハ製鍊業ニ對スル資金ノ融通又ハ投資」ハ、本會社ガ決定スルコトトナルト思ヒマスカラ、御説ノヤウナ意味ニ於テ、此ノ會社ヲ指導致シタイト存ジマス

○高橋(壽)委員 今ノ御答辯ヲ伺ヒマス、第十二條ヲ特ニ設ケラレル必要ハナイカノ如ク考ヘラレマスガ、如何ナモノデセウカ

○小金政府委員 今日日本興業銀行ハ、御承知ノ通り特別ノ法令ニ依ツテ出來テ居ル銀行デアリマスノデ、斯ウ云フ規定ガナイト、斯ウ云フ會社ノ代理行爲其ノ他ノ事業ガ出來ナイノデ、特ニ決メタコトト存ジマス

○高橋(壽)委員 代理行爲ヲサセルナラバ今マデヨリモ第十一條第一項ノ第六號ニ該當スルヤウナモノニ對シテ、日本興業銀行ガ積極的ニ働ケルト云フノデアリマスガ、損ヲスル面倒ナコトハ開發會社ガヤツテ、比較的確實ナ方ノ融通ダケヲ興業銀行ニヤラスノデアレバ、今マデデモ興業銀行ハ自分ノ責任ニ於テサウ云フコトヲヤツテ居ツタノデアリマスカラ、ソレナラ何モ十二條ヲ設ケナクテモ宜イヤウニモ考ヘラレルノデアリマスガ、如何デアリマセウカ

○小金政府委員 日本興業銀行ハ日本興業銀行ノ法令ノ範圍内ニ於テ、其ノ活動ガ規制サレルノデアリマスガ、此ノ法案ヲ政府ガ提出サレマシタ所以ノモノハ、興業銀行カラ特ニ放出スル所ノ金、又ハ興業銀行ノ立場ヲ以テシテハ不十分デアリマスカラ、特ニ斯ウ云フ機關ヲ國家トシテ持ツ必要ガアツタノデ作ツタノデアリマス、隨ヒマシテ是ト日本興業銀行ノ業務ノ範圍ニ屬スル

モノトハ重複スル所ハアリマセウガ、衝突スル所ハナイヤウニナツテ居ルノデアリマス、ソレデ此ノ第十二條ヲ設ケマシタノハ、此ノ規定ニ依ツテ日本興業銀行ノ業務ヲ左右スルコトハ出來ナイ建前ニナツテ居リマス

○高橋(壽)委員 今ノコトニ對シテハ、モウ少シ速記録等ヲ拜見致シマシテカラ研究致シテ見タイと思ヒマス、此ノ質問ハ保留シテ置キマス、其ノ第十一條第二項ノ第六號ノ「鑛業又ハ製鍊業ニ對スル」ト云フノハ、ドウ云フ意味ノ製鍊業デゴザイマスカ、

先程ハ此ノ會社ハ製鍊業ハヤラナイ、産金會社ハ製鍊業マデ含ムノダト云フヤウナ意味ニモ伺ツタノデアリマスガ、茲ニ言フ製鍊業トハ何カ、御説明ヲ願ヒマス

○小金政府委員 「重要鑛物ヲ目的トスル鑛業又ハ製鍊業」其ノ製鍊業ハ重要鑛物ノ製鍊業全部ヲ言フノデアリマス、隨ヒマシテ獨立ノ製鍊所ニ依ル製鍊業モ入ルモノデアリマス

○高橋(壽)委員 重要鑛物ノ製鍊業ト云ヒマス、所謂銅ヲ製鍊スル乾式ノ製鍊所ト云フモノデ、連モ産金専門ノ製鍊所トハ比べモノニナラナイ程資金ヲ澤山必要トスルノデアリマス、隨テ資金ノ關係ニ於テ、産

金會社ヨリモ少イ資金デ鑛業開發會社ガ、其ノ任務ヲ全ウシ得ヨウトハ思ハナイノデアリマスガ、如何デアリマセウカ

○小金政府委員 商工大臣ノ御説明ノ中ニモ、此ノ會社ハ鑛石ヲ餘計出シテ、サウシテ製鍊ノ資ニ資スルト云フ意味ノコトガアツタト存ジマスガ、我國ノ製鍊業ノ狀態カラ見マス、銅ノ如キ非常ニ多額ノ金ヲ要スル製鍊業ハ、今ノ所此ノ會社或ハ他ノ會社カラ特ニ融通ヲシナケレバナラスト云フコトハ考ヘラレマセヌ、此ノ製鍊業ノ中ニハ鉛、亜鉛、其ノ他「アンチモニー」モアリマセウシ、色々ナ鑛物ヲ製鍊スル場合ヲ含メテ居リマス、ソコデ特ニ資金ノ融通又投資ヲ欲セラレタ者ニ、此ノ會社ガ資金ヲ融通スルノデアリマシテ、今銅ノ如キ非常ニ多額ノ資金ヲ必要トスル製鍊所ヲ建テサセル考ハゴザイマセヌ

○高橋(壽)委員 マダ私ノ了解シナイ所ガアリマスガ、ソレ等ハ各委員ノ御質問ヲ伺ツタ上デ再ビ御尋スルコトニシテ、私ノ質問ハ一先ジ是デ打切りニ致シマス

○八角委員長 宮脇君

○宮脇委員 此ノ法案ニ付キマシテハ私ハ至極賛成デスガ、此ノ法案ノ實行ト共ニ、此ノ重要鑛物ノ増産ノ促進ニ付テ、政府ノ意見ヲ伺ヒタイ、豫算委員會或ハ其ノ他ノ委員會等ニ於テ、既ニ質問應答ガアリマシタコトハ、私此處デ以テ再ビ言フコトヲ避ケマスガ、併シナガラマダ十分腑ニ落ちナイ點ニ付テニ三質シテ見タイと思ヒマス、第一ニ私ノ御伺致シタイノハ重要鑛物、其ノ中デ一例ヲ取ツテ申上ゲマスガ、何ト申シマシテモ結局事業ト云フモノハ採算本位デアル、然ルニ統制上ノ相場、價格ガ非常ニ安クハナイカ、之ニ付キマシテハ前申シマスヤウニ、是マデモ委員會デ以テ屢、質問應答ガアツタヤウデアリマスケレドモ、私ハドウモ政府ノ答辯ガ腑ニ落ちナイ、先ヅ之ヲ銅ニ付テ申シテ見マスナラバ、現在ノ價格ハ月デ違ヒマスルガ、約百七圓、然ルニ之ヲ事變當初ノ少シ前カラノ相場ヲ見マスト、是ハ其ノ月ノ日デ違ヒマスカラ、最高ノ價格ヲ申上ゲマス、一月ガ百十四圓、二月ガ百四十四圓、三月ガ百五十四圓、四月ガ百四十八圓、而シテ五月ガ百三十一圓、六月ガ百二十七圓、七月ガ同ジク百二十七圓、八月ガ百三十圓、九月ガ百二十四圓、是ガ詰リ事變ノ當初竝ニソレカラ少シ遡ツタ時ノ銅ノ價格デアリマス、然ルニ現在ハ前申シマスヤウニ大體百七八圓デアル、而モ一方銅ヲ出ス爲ノ經費ヲ考ヘテ見マス

ナラバ、勞働賃銀ハ非常ニ上ツテ居ル、諸機械ハ調辨ニ不便デアリ、又非常ニ上ツテ居ル、爆藥ハ問題ニナラヌ程相場ガ上ツテ居ル、税金ノ問題ハ暫ク別ニ致シマシテモ、斯ウ云フ點カラ考ヘテ銅ノ増産ハ出來ヤウ筈ハナイ、若シ銅ノ増産ヲシヨウト思ヒマスナラバ、茲ニ適當ナ價格ヲ與ヘレバヨリ以上ノ増産ガ出來ルガ、價格ヲ引下ゲルコトニ依ツテ、價格ノ安イ恩典ヲ受ケル者ハ陸海軍トカ官廳方面ニ多イ、民間ニ於キマシテハ實際ニ於テ此ノ價格デハ取引ガ難カシイ、茲ニ已ムヲ得ズ閣下相場ガ行ハレル、此ノ相場ニ付キマシテ私ハ此處デ諄々シク申上ゲマセヌ、商工當局ノ御承知ノヤウニ問題ニナラヌ高イ相場デアル、銅ガ高イケレドモ、ソレヲ手ニ入レナケレバ仕事ハ出來ナイ、工場ハ動カスト云フノデ、已ムヲ得ズ泣ク／＼高イ相場ヲ以テ買ツテ居ル、非常ニ價格ヲ引下ゲテ置イテ、ソレデ調辨スル者ハ官廳關係デアリマス、民間ハ非常ニ困ツテ居ル、私ハ銅ノ輸入ニ付テ多少研究シテ見マシタガ、昭和九年ニハ四万七千噸ノ輸入デアル、昭和十年ガ六万五千噸デア

ル、昭和十一年ガ四万八千噸デア

ル、昭和十二年ノ七月マデハ分ツテ居リマスガ、ソレカラ後ハ祕密デ發表シマセヌカラ分

リ

リ

リ

リ

リ

マセヌケレドモ、七月マデニ五万七千通デ
アツタ、其ノ後ハ私ハ大體想像シマシテ
モ、事變ノ關係デ餘程輸入ガ殖エテ居ル
ノデハナイカト見テ居ル、而モ一方デ
銅ノ相場ヲ非常ニ不自然ニ抑ヘテ居ルカ
ラ、民需關係ニ於テハ大變ニ困ツテ居ル、
サウシテ又國家トシテハ此ノ輸入ヲ防ガナ
ケレバナラヌ場合ニ於テ、必需品デアルカ
ラト云フノデ、厭ヤ／＼ナガラ莫大ナル金
ヲ國外ニ拂ツテ居ル、更ニ一方私共ガ最モ
考ヘナケレバナラヌコトハ、國際情勢ハド
ウ變化スルカモ知レマセヌガ、私共ノ考デ
ハ全般的ナ經濟封鎖ハ大體ナイト思ヒマ
ス、併シナガラ國際情勢ガ變化スレバ――
變化シナクテモ現在ノ儘デ行キマシテモ、
事ニ依ルト或ル極メテ必要ナ軍需品ニ限ッ
テ輸入ガ止ルト思フ、是ハ出來ルコトデア
リマス、或國ガ日本ノ絹絲ヲ買ハヌ、日本
ニ棉ヲ賣ラヌト云フコトハアリ得ナイト思
フ、併シナガラ日本ノ作戰行動ヲ妨害シ、
軍事行動ヲ阻碍スルト云フ見地カラ、時ニ
依ツテト言ヒタイガ、或ハソレ以上カモ知
レマセヌ、極メテ必要ナ軍需品ハ今少シ先
ニナツテ、事ニ依ツタラ止マルカモ知レヌ、
ソレデ私ノ一番懸念スルノハ先ヅ銅デア
ル、護謄デアル、「ガソリン」デアル、斯ウ

云フ品種ニ限ツテ貿易ガ止マルト云フコト
ハ、是ハ餘程考ヘナケレバイケナイ、是ガ
止ツタ場合ニ於キマシテハ、戰爭ノ遂行ハ
餘程困難ト思ヒマス、是等ノコトハ豫メ大
體前途ヲ想定シテ、前以テ相當準備シテ置
カスト危險デアル、言フマデモナク銅ト云
フモノハ近代戰爭ノ軍需品デアツテ、極メ
テ必要デアル、最重要品ノ一ツデアルト思
ヒマス、之ニ付テ國策ノ關係カラ増産セヨ
ト云フコトハ洵ニ結構デアリマスガ、併シ
ナガラ經濟問題ト云フモノハ又別デアリマ
シテ、有利ニ行キマスナラバ、之ヲ掘ルナ
ト言ウテモ掘ルト思フ、吾々ノ考デハ政府
ガ業者ニ向ツテ聲ヲ囑シテ之ヲ激勵スル必
要ハナイ、黙ツテ居ツテモ掘ルヤウニ仕向
ケルノガ本當ノヤリ方デアル、斯ウ思ツテ
居リマス、以上ノ點カラ考ヘマスト、色々
ノ御事情モアリマセウ、物價ノ上ルノヲ抑
制シナケレバナラヌト云フコトモアリマセ
ウガ、併シナガラ元來事變前ヨリモ非常ニ
下ツテ居ル、而シテ一方生産費ハ非常ニ上
ツテ居ル、サウシテ前申スヤウナ極メテ必
要ナ、事ニ依ツタナラバ戰爭ノ遂行モ阻碍
サレハシナイカト云フモノニ對シテハ、格
別ノ御考慮ガ必要デハナイカト私ハ思フ、
先ヅ之ニ付キマシテ私ハ商工當局ノ率直ナ

ル御意見ヲ御伺致シタイ、前申シマスヤウ
ニ、私ハ物價騰貴抑制ト云フコトニ付テハ
萬々承知シテ居リマスガ、併シ物ニハソコ
ニ自ラ輕重ガアルト云フ點カラ御伺致シマ
ス
○小金政府委員 統制上ノ建値、特ニ銅ニ
關シテ其ノ建値ガ現在安クハナカラウカ、
特ニ採掘カラ製鍊、電解ニ至ルマデノ諸般
ノ材料ガ騰貴シテ居ルヤウナ關係カラ見テ
ノ御議論、洵ニ御尤ト存ジマス、唯此ノ建
値ヲ斯ウ云フ風ニ定メテ置キマスノハ、御
說ノ中ニモアリマシタヤウニ之ヲ上ゲテ行
ツテ生産費本位ト云フヤウナコトニナリマ
スト、製鍊ヲスル會社ニ依ツテモ異リマス
シ、又銅一ツノ建値ヲ動カスト云フコトガ
非常ニ困難ナ狀況ニアリマスノデ、引上ゲ
ルト云フコトハ低物價政策ニ背馳スル現象
ヲ呈スルコトニナリハシナイカ、而モ値上
リニ依ツテ生産所ノ利益ガ、擧ゲテ増産
ニ振向ケラレルヤウナ仕組ニナツテ居レバ
宜シイノデアリマスガ、銅鑛山ノ採掘或ハ
製鍊ハマダ管理モ致シテ居リマセヌノデ、
サウ云フヤウナ色々ナ點ヲ顧慮致シマシテ、
今ノ所建値ガ動カサレテ居ラヌノデアリマ
ス、ソコデ御說ノヤウニ品不足ニ基ク闇相
場、或ハ一方長期戰爭ト竝ンデ長期建設ヲ

計畫シテ居ル際ニ、斯ウ云フ重要ナ物資ニ
付テ、國內資源ノ開發ノ一助トシテ建値ノ
問題ヲ考ヘロト云フ御說ニ對シテハ、洵ニ
御尤ト存ジマス、唯今申上ゲマシタヤウナ
色々ノ事情ガアリマシテ、獨リ商工當局ノ
ミデハ取計ヒ兼ネルコトモアリマスガ、併
シナガラ御說ニナリマシタ點ヲ考ヘテ、十
分檢討シテ戴クコトト致シマス、尙ホ御引
合ニ御出シニナリマシタ銅ノ百珎建ノ建値
デアリマスガ、從來日本ノ銅ノ相場ハ、銅
ノ國際商品デアルノニ鑑ミマシテカ、或ハ米
國トノ關係ニ依リマスモノカ、兎ニ角亞米
利加ノ相場ノ寫眞相場建値ヲ決メテ居ッ
タノデアリマス、隨ヒマシテ銅ノ製鍊業者
ハ少シモ苦勞シナイデ、亞米利加ノ相場ガ
上レバウント儲ケルト云フヤウナコトモア
リマシタシ、又其ノ亞米利加ノ相場ノ變
動ノ爲ニ損ヲシタト云フヤウナコトモ私共
ハ聞イテ居リマス、サウ云フ狀態デアリマ
スカラ、從來ハ百珎百五十四圓位マデ上ツ
タコトガアリマス、此ノ方法ニ依ツテ今勘
定致シマス、建値ハ或ハ百圓位デ宜イノ
カモ知レマセヌ、併シナガラ此ノ建値ヲ亂
高下致シマスコトハ、銅ノ製鍊業者ニ取ツ
テハ極メテ不便デアリ又不自由デアリマス
ノデ、建値ハ一應釘付ケニシテ置クト云フ

ヤウナ意味デ、當時ノ建値ガ決メラレタト存ジマス、其ノ後諸般ノ事情デ今ノヤウナ狀態ニナリ來ツタ次第デゴザイマス

○宮脇委員 政府ノ御意見ハ能ク分リマシタガ、私ガ申シマシタノハ、何ト申シマシテモ結局採算ガ取レレバ、比較的品位ノ低イモノデモ處理シ得ルト云フコトハ當然デアル、是ハ既ニ金ニ於テ其ノ通りデアル、斯ウ云フ見地カラ、何トシテモ採算ガ取レルヤウニ仕向ケルコトガ増産ノ根本義デア、斯ウ思フノデアリマス、ソコデニ關聯シテ御伺シタイノハ、私共ハ銅ノ相場ガ今申シマスヤウニ寫眞相場、亞米利加ニ伴ツテ居ルト云フコトハ固ヨリ惡イ、併シナガラ現在ニ於キマシテモ、ヤハリ亞米利加ノ相場ガ餘程コチラニ加味シテ算定サレルモノデハナイデスカ、如何デセウカ

○小金政府委員 御説ノ通り採算問題ニナツテ來ルト思ヒマス、採算サヘ取レレバ低品位ノ鑛石マデモ取り得ルノデアリマスカラ、其ノ意味ニ於キマシテ出來ルダケ鑛山ノ「コスト」ヲ引下ゲルヤウニ、或ハ一部採鑛獎勵金ヲ交付スルトカ、其ノ他ノ會社ガ諸般ノ施設ヲシテ、其ノ「コスト」ノ引下ニ協力ヲスルト云フ建前ヲ執リタイト存ジマス、尙ホ現在ニ於テモ建値ガ決定セラレル

ニ付テ、亞米利加ノ相場ガ加味サレルデハナイカト云フカ御質問デアリマスガ、是ハ輸入鑛石ガ大體ニ於キマシテ、コツチサヘ焦ラナケレバ國際相場ヲ基準トシタモノデ買ヒ得ルモノト存ジマス、所ガ日本ノ銅ノ建値ハ、其ノ國際相場ニ餘リ動カサレルコトモ困リマスノデ、輸入鑛石カラ製鍊セラレル銅トノ割合其ノ他ヲ睨合セマシテ、多少ノ其ノ月々ノ銅ノ標準相場ヲ定メテ居ルヤウナ實情デアリマス、隨ヒマシテ全部國際相場ニ依ツテ左右サレルモノデモナク、又完全ニ國內ノ——何ト言ヒマスカ、國際相場カラ孤立シタ相場ト云フモノデモナイ、稍、徹底ヲ缺イテ居リマスガ、今ノ所輸入鑛石等カラ製鍊サレル銅ガ比較的安ク出來マスノデ、其ノ點ヲ多少見越シテ其ノ月ノ標準値段ヲ決メテ居ル、斯ウ云フ實情デアリマス

○宮脇委員 私ハ前申シマシタヤウナ見地カラ、今安ク買ヘルカラト云フコトニ頭ヲ置クト云フト、大局カラ見テ非常ナ場合ガ來ハセヌカト云フコトヲ心配シマス、ソレカラ買上相場ガ云々ト云フコトデアリマシタガ、是ハ別トシテ、吾々ノ考デハ採算問題ガ主デアル、サウスレバ又他ノ方面カラ考ヘテ、採算ノ取レルヤウニヤル方法モアル

カ知レナイ、即チ税ノ關係ナドヲ、何トカ此處デ大所高所カラ見テ、商工省ガ積極的ニ働キ掛ケテ、産金、産銅其ノ他ニ付テ餘程御考慮ヲセヌト、大藏省ノ方デハ多少立場ガ違ヒマスカラ意見ガアルカモ知レナイガ、何トカセヌト私ハ將來非常ナ困ツタコトニナリハセヌカ、産金、産銅ニ付テ採算ノ取り易イヤウニ、詰リ採算ノ關係上増産シ得ルヤウニ、私ハ税ニ付テ御考慮ヲ御願シタイ、第一考ヘテ見レバ今ノ税ノ累進デスガ私ハ時局ヲ考ヘテ見マシテ、固ヨリ長期ト言ヒマスケレドモ、何ト申シマシテモココ短期間ノ間ガ一番問題デアアル、國民大衆ニ向ツテハ色々申シマセウ、併シナガラ相當ノ識者ハココ短期間ノ切抜ニ付テ萬遺憾ナイコトガ必要デナイカ、サウ簡單ニハ參リマセヌト考ヘマス、能ク物資ヲ研究シマスナラバ、中々議會デ政府當局ガ申スヤウニ私ハ樂觀ハシマセヌ、短期間ガ果シテ重要ナ時期ナラバ、私ハ手取早く出サナケレバナラスト思フ、即チ金ニシテモ銅ニシテモ短期間ニウント出サナケレバナラスト、短期間ニウント出サス御方針ナラバ、茲ニ金、銅ニ付テノ累進ノ税ト云フコトハ、外一般ト一樣ニハイカスト思フノデス、私ハ鑛山ノ狀況ハ能ク存ジマセヌガ、大體ノ見當ハ付テ居リ

マス、例ヘバ或ル金山ニ非常ニ品位ノ高い鑛石ガアル、之ヲ今思切ツテ出スト云フト採算ニ困ルト云フコトヲ考ヘテ、之ヲ延バスト云フコトモ私ハ聽イテ居リマス、之ヲ以テ直グニ國賊呼ハリモ、サウ簡單ニハ參ラナイ、ココ短期間ニ乗切ルコトガ極メテ國家トシテ必要ナラバ、此ノ短期間ニウント物資ガ出ルヤウニシナケレバナラスト、殊ニ銅、金ニ於テ然リト思ヒマス、ソコデ前申シタル通り、累進ニ依ツテ稅ガ遞増スルト云フコトニナルト、悉クデモアリマスマイガ、或ル業者ニ至ツテハ、ソレガ爲ニ三年デ掘ル所ヲ五年、七年掛ケル、吾々ハ其ノ逆ニ三年ノ所ヲ一年デ掘レ、二年ヲ半年ニセヨ、斯ウ云フヤウニ皆、頭方カナケレバйкаスト云フ意味デ申スノデアリマス、此ノ問題ハ固ヨリ商工省ダケノコトデ行キマスマイガ、商工省ハサウ云フ考ノ下ニ、大藏省ニ向ツテ積極的ニ働キ掛ケナケレバナラスト思ヒマスガ、之ニ付テドウ云フ考ヲ持ツテ居ルカ、一應御伺致シタイ

○小金政府委員 採算問題ニ關聯シテ、要スルニ「コスト」ヲ下ゲル爲ノ一ツノ「ポイント」トシテ、税ノ問題ヲ御舉ゲニナリマシタガ、稅ガ輕ケレバ輕イ程「コスト」ガ下ルコトト思ヒマス、併シナガラ或ル程度現實

ニ利益ガアツタラバ、或ル程度ノ税ヲ納
メルト云フコトモ、亦已ムヲ得ヌノデハナ
イカト存ジマス、ソコデ税ノ問題ト致シマシ
テハ、臨時租税措置法デ昨年ノ議會ヲ通過
致シマシタガ、其ノ法律デ新規ニ開發サレ
ル鑛區ニ付テハ、其ノ税ノ累加ノ中ニ入レ
ナイト云フヤウナ措置ヲ取ツテ居リマス、

サウ云フヤウナ關係モアリマスカラ、今ノ
所特ニ輕減シナケレバ鑛物ノ増産ガ十分ニ
行カナイノデナイカト云フ所マデ考ヘテ居
リマセヌ、金ニ付テハ勿論デアリマスガ、
大キナ銅ノ山ニ付キマシテハ、重要鑛物増
産法ノ規定ニ基キマシテ、事業計畫書ヲ出
サセマス、ソレヲコチラデ見マシテ、ソコ
ノ山デハ五百匁ノ鑛石ヲ採掘シテ、之ヲ處
理スルヤウニ計畫シテ居ルガ、實際上七百
匁ノ採掘及ビ其ノ處理ガ出來ルノデナイカ
ト云フヤウナコトヲ、私共ノ方ノ技術者ガ
調べマシテ、事實上事業計畫ノ變更ヲ命ジ
テ居リマス、サウ云フヤウナ次第デ、十年
ノ命脈ガアルト云フ計畫ノ山ハ五年ニミテ
シマヒ、資材能力其ノ他ノ關係デ出來ナケ
レバ七年デモ已ムヲ得ヌガ、兎ニ角山ノ生
命ハ半分位ニ縮メテ、一ツ此ノ際鑛物ヲ餘
計出シテ呉レ、其ノ代リニ其ノ鑛物ニ代ル
ベキ鑛物ヲ探ス爲ニハ、サウ十分ナルコト

ハ出來マセヌガ、探鑛獎勵金ヲ差上ゲルト
云フヤウナ方法デ、事實上進シデ居ル次第
デゴザイマス

○宮脇委員 尙ホ一二聽キタイノデアリマ
スガ、商工當局ノ御意見ハ能ク分リマシタ
ガ、私ノ言フノハ、何處マデモ前申シタヤ
ウナ根本ノ方針カラ積極的ニヤツテ戴キタ
イ、斯ウ思フ、此ノ會社ガ出來テ相當働イ
タ場合ニ於テハ、銅ノ自給自足ハ可能デア
リマセウカ、大體ノ見當ハ――

○小金政府委員 一寸速記ヲ止メテ下サイ
○八角委員長 ソレデハ速記ヲ中止シテ下
サイ

〔速記中止〕

○八角委員長 ソレデハ速記ヲ願ヒマス

○宮脇委員 次ニ御伺シタイコトハ、甚ダ
小サイ問題デアリマスガ、斯ウ云フコトモ

今考ヘテ居リマス、鑛石ヲ製鍊所ニ送ルニ
當ツテ、汽車賃ニハ相當割引ガアルガ、現
在ノ「ガソリン」ノ統制ヲ以テスレバ、停車場

マデ鑛石ヲ運ブコトハ相當困難デアル、一
方デ汽車賃ノ割引ハアルガ、「トラック」ノ運

賃ハ漸次高クナツテ行クノミナラズ、「ガ
ソリン」ノ關係デ事ニ依ツタラ停止ノ場合

ガアリハセヌカ、之ヲ直グ馬車ニ替ヘルコ
トモ出來ナイ、斯ウ云フ點カラ私ハ先手ヲ

打ツテ、今カラ重要鑛物運搬ノ爲ニ、特別
ニ「ガソリン」ヲ配給スルト云フヤウナ御用
意ハナイカドウカ、ソレヲ御伺シタイ

○小金政府委員 御説ハ洵ニ御尤デアリマ
シテ、「ガソリン」ノ配給ニ當リマシテハ、多
少高クナル傾向ハ已ムヲ得ナイトシテモ、
ドウモ品不足デ鑛物ガ運ベナクナルト云フ
ヤウナコトハ、其ノ影響スル所大キク又深
イノデアリマスカラ、成ベク鑛山カラ出ル
鑛石ノ運搬ニ付テハ優先的取扱、言葉ハ當
ラスカモ知レマセヌガ、兎ニ角全部サウ云
フ風ニシテ行キマス、ト「ガソリン」ノ「ストッ
ク」等ヲスル惧レガアルト云フ議論ガ出
マスノデ、下ノ山、下ノ地方ニ「ガソリン」

ガナイト云フコトガ分リマスレバ、直グ何
トカ手當フ今マデモシテ來タヤウナ次第デ
アリマスガ、今後モ御説ハ十分拜聽致シマ
シテ努力致シマス

○宮脇委員 御用意ノ程洵ニ結構デ満足デ
アリマス、尙ホ御伺シタイコトハ、是ハ前
申シマスヤウニ立派ナ法案デアリマシテ、
何トカ之ヲ活用シテ重要鑛物ノ増産ヲ圖リ
タイ、併シナガラ何ト申シマシテモ結局其
ノ活用運用ハ人ニアル、動モスレバ會社ノ
利益ノミニ頭ヲ使ツテ、會社ノ出來タ根本義
使命ニ付テ頭ヲ使ハヌト云フコトニナツテ

ハ、私ハ非命ナ問題デアルト思フ、能ク此
ノ會社ノ使命ヲ果ス爲ニハ、此ノ會社ノ使
命ニ付テ十分諒解アリ手腕アル人ガ、之ニ
關係セナケレバイカスト思ヒマス、之ニ付
キマシテ私ハ商工大臣ガ御見エノ場合、委員
長ニ御願シテ、其ノ際意見ヲ述ベタイと思
ヒマスガ、或ハ御都合デ大臣ガ出ラレナイ
場合ニハ、政府委員ノ方カラ大臣ノ方ヘ篤
ト御傳ヘ願ヒタイ、是ガ此ノ會社ガ使命ヲ
果スカ果サヌカノ分岐點デアルト私ハ思フ、
最後ニ一ツ申シテ置キタイノデアリマス、
大藏省モアリ企畫院モアリマセウガ、何ト
申シマシテモ、商工省ガ鑛業問題ノ根本デ
アリマス、之ニ付テハ商工省ガ前申スヤウ
ニ何處マデモ積極的ニ働キ、其ノ問題ノ解
決ニ努メナケレバナラスト思ヒマス、ソレ
ニ付キマシテハ萬遺憾アリマスマイガ、一
層ノ御努力ヲ願ヒタイ、吾々ノ考ヘル所デ
ハ、時局ノ處理ハ中々簡單ニハ參ラスト思
ヒマス、又議會デ以テ唯希望ト意見トヲ混同
シタヤウナ意見ヲ言ウテモ何ニモナラス、
此ノ場合餘程緊要一番、大所高所カラ目的
ヲ達スルコトニ向ツテ參ラスト云フト、私
ハ非常ナ混亂ニ遭遇シハセヌカト思フ、私
共ハ決シテ時局ヲ悲觀スル者デハアリマセ
ヌ、併シナガラ悲觀セヌト云フ一面ニ於テ

ハ、十分ナ覺悟ト十分ナ準備ガアツテ初メテ然ルノデアリマス、唯斯ウ／＼スレバ澤山出來ル、斯ウ／＼スレバドウダト大風呂敷ヲ擴ゲテモ、私共ハ決シテ安心スル者デハアリマセヌ、ドウカ物資ノ増産ニ付テ重大ナ使命ヲ持ツテ居ル商工當局ニ於テハ、堅實ニ萬遺憾ナクヤラレルヤウ、私ハ此ノ機會ニ御願致シマシテ、是デ私ノ質問ヲ打ちリマス

○小金政府委員 深甚ナル御支援、御鞭撻ノ御言葉ヲ賜リマシテ、厚ク御禮ヲ申上ゲマス、尙ホ此ノ法案ハ至極結構デアルガ、要ハ其ノ活用及ビ運用ニアリ、而シテ其ノ重點ハ要スルニニアリト云フ御言葉洵ニ御尤デ、甚ダ差出ガマシイヤウデアリマスガ、能ク其ノ御趣旨ヲ大臣ニモ御傳ヘ致シテ、十分ナル覺悟ト御決心ヲ以テ、其ノ人選ニ當ラレルヤウ御願致シマス

○八角委員長 ソレデハ宮脇君ノ質問ガ終リマシタカラ、本日ハ是デ質問ヲ止メタイト思ヒマスガ、高橋君カラ議事進行ニ付テ質問ガアルト云フコトデスカラ、御發言ヲ許シマス——高橋君

○高橋壽委員 去ル九日産金法中改正法律案審議ノ當委員會ニ於キマシテ、午後三時頃委員長ハ、私ノ質疑モ終ラナイニ質疑

ヲ打切ラレテ、討論ニ入ラレタノデアリマス、其ノ理由ヲ一昨日カ伺ヒマシタ所ガ、理事ト相談ノ上ニヤツタノデアル、文句ハナイダラウト云ツタヤウナ、強イ意味ノ御言明ガアツタノデアリマス、併シ私ハ其ノ時理事ヨリ何等ノ通知ニモ接シマセヌ、唯私ガ質問中ニ寺島理事カラ、今日ノ午後三時カラ豫算委員會ニ於テ秘密會ガアルカト云フ通告ガアリマシタノデ、私ハ時計ヲ見マシテ、三時頃ニナリマシタカラ、一寸質問ヲタメラヒマシテ、委員長ノ顔ヲ見テ居ツタノデアリマスガ、委員長ハマダ私ノ質問ガアルト言フノモ構ハズニ押切ツテ、質問ヲ終結シ討論ニ入ラレタノデアリマス、其ノ當時多分卯尾田理事デアツタラウト思ヒマスガ、議長横暴デヤナイカト言ツタヤウナ聲ヲ私ハ耳ニシテ居リマス、併シ一昨日御尋シタヤウニ、委員長ノ御言葉モアリマシタシ、其處デ押問答スルノモドウカト思ヒマシテ、色々調ベテ見タノデアリマス、所ガドウモ私ノ調ベタ所デハ、少シ委員長ノヤリ方ガ横暴デヤナカッタカト云フヤウナ點ガアルノデアリマス、私モ九日ノ委員會ニ於テ、質問打切ト云フヤウナ委員長ノ宣告ガ、前ノ日ノ委員會ニモアツタカト思ツテ速記録ヲ調べマシタガアリマセヌ、又私ハ當日

初メカラ終リマデ居ツタノデアリマスガ、其ノ時ニモ今日ヲ以テ質問ヲ打切ルト云フ委員長カラノ御注意モ何モナカッタノデアリマス、サウシテ私ハ質問スル筈デアツタノデアリマスガ、長谷川君、川俣君其ノ他ノ御希望モアツタノデ、敢テ質問ヲ譲ツタ、ソレハ私ハ午後三時頃ニナレバ質問ヲ打切ルトダト云フ、委員長ノ御方針ガ分ラナカッタ明カナ證據デアリマス、ソレハ兎モ角トシテ、委員長ガ理事ト御相談ニナツテ、理事ガ承諾シタカラ、ソレデ宜イデヤナイカト云フコトハ、私ハ宜シクナイト思ヒマス、アノ速記録ヲ今議事課デ調べタノデアリマスケレドモ、今夕刻デナケレバ一昨日ノ速記録ハ參ラスサウデアリマスカラ、的確ニ委員長ノ御發言ヲ此處デ確メル譯ニハ行キマセヌガ、私ノ聽イタ所デハサウデアリマス、ドウ云フ根據デヤラレタカ、ドウ云フ條文ニ依ツテ理事ト相談サヘナサレバ質疑ヲ打切り、討論ニ入ルコトナドハ差支ナイト云フ御見解カ存ジマセヌガ、私ノ調査シマシタ所ニ依リマス、是ハ昭和十二年七月改訂ノ衆議院委員會先例彙纂ノ第四百四十二項ニ斯ウアリマス、「質疑ノ終局ハ委員長之ヲ決シ若クハ委員會ニ諮リテ之ヲ決ス」斯ウ云フ見出シデアリマス、ソコデ其

ノ説明ガ「質疑終了シタリト認ムルトキハ委員長任意ニ質疑終局ノ宣告ヲ爲スヲ例トスルモ委員會ニ諮リテ之ヲ決シタルコトアリ、但シ質疑通告者總テノ質疑ヲ了ラザルニ拘ラス質疑終局セムトスルトキハ委員長ヨリ發議シ、又ハ動議ニ基キ委員會ニ諮リテ之ヲ決スルモノトス」ト斯ウアルノデアリマス、當日ハ此ノ條文ノ通りニハヤラレナイヤウデアリマシタガ、委員長ノ御見解ハ如何デアリマスカ

○八角委員長 御答致シマス、産金法ノ質疑ヲ打切りマシタノハ、慥カアノ日ニ質問ヲ終了シテ採決スルト云フコトヲ理事トノ間ニ御申合セラシメ置イタノデアリマス、其ノ際ニマダ長イカト云フコトヲ申シタラ、高橋君ハ一時間位掛ルト仰シヤルノデ、ソレテラバ次ニ日本産金會社法案ノ時劈頭ニ御許スルカラ、ソレニ讓ツタラドウカト言ツテ御諮リシタト覺エテ居リマスガ、ソレデ宜イト云フヤウナ御話ガアツタカラ、ソレデ大體打切ツタノデアリマス、ソコデ日本産金會社法案ノ時順位ヲ一番ニシテ高橋君ノ發言ヲ待ツテ居ツタノデアリマスガ、其ノ時ハ御出席ガナカッタ爲ニ、昨日ニナツタヤウナ譯デアリマス

○高橋壽委員 話ハ少シ前後致シマス

レドモ、委員長が去ル十一日ノ委員會ニ第一ノ質問ノ順位ヲ與ヘテ居ツタケレドモ、私ガ缺席シタカライカスデヤナイカ、斯ウ云フ御叱リヲ先達モ受ケマシタ、今日モ受ケタノデアリマスガ、ドウモ其ノコトモ委員長ノ御話ガ分ラナイ、若シ十日ノ日ノ委員會ニ果シテ私ノ質問ノ通告ヲ認メラレテアルノナラバ、十日ノ委員會ノ速記録ノ終ヒノ方ニ、散會ニ當ツテ委員長ガ宣告セラレマシタ言葉ノ中ニ、ソレデハ是デ通告ノ質問ハ全部終リマシタ、次會ハ討論ニ移リマス、討論ノ前ニ簡單ナル御質問ヲ御許シスルコトニ致シマス、斯ウアル、委員長ガ私ノ質問ノ通告ヲ第一ニ認メラレテ、サウシテ私ガ缺席シタカラト云ツテ、通告ノ質問ハ全部終リマシタト云フ御發言ハドウ云フコトデアリマスカ、私ノ解セザル所デアリマス、更ニ又委員長ハ三月六日ノ委員會ニ於テ、是ハ産金法中改正法律案デアッタラウト思ヒマスガ、其ノ日ハ大藏政務次官ノ提案ノ理由ノ説明ガアリ、ソレカラ政府ニ資料ノ提供ヲ要求シタノデアリマスガ、其ノ際ニ私ハ質問ヲ致サウト思ヒマシタラ、委員長ハ今日ハ質問ハシナイ、明日カラヤルト云フ御話デアッタ、委員長ハ斯ウ云フ先例ヲ殘シテ居ラレル、此ノ産金法中改正法律案

ノ第一日ニ於テハ、政府ノ提案ノ説明ト、ソレカラ資料ノ提供ダケヲ求メテ質問ヲ許サレナイ、所ガ去ル十日日本産金振興株式會社法中改正法律案ノ第一日ニハ、今井政府委員ガ説明サレテ居ル、サウシテ其ノ日ノ中ニ通告ノ質問ハ終ツタカドウカ知リマセヌガ、委員長ハ通告ノ質問ハ全部終リマシタ、次ハ討論ニ移リマス、隨分事急デアル、ドウモ私ハ此ノ點ガ分ラナイ、委員ハ大抵二ツヤ三ツノ委員會ヲ掛チシテ居リマス、此ノ法案ノ第一日ニ必ズ全員ガ出席スル譯デハナカラウト思フ、又委員長ガサウ云フ前例ヲ示シテ居ラレマスカラ、委員等ハ今日一日デ済ムトハ思フマイト思フ、ソレヲ斯ウ云フ風ニ妙ナ風ニ進メテ行カレル、ドウモ其ノ邊ノ委員長ノヤリ方ガ私ニハ了解ガ出來ナイノデアリマス、如何ニモ折角委員長ガ御高配ニナツタ日本産金振興株式會社法中改正法律案ノ委員會ノ第一日ニ私ガ缺席シタコトハ、重々不届デアリマスケレドモ、ソレガ一體委員長ガ二度モ繰返シテ私ヲ御譴責ニナル理由ニナリマスカ、ソレヲ伺ヒタイノデアリマス

○八角委員長 御答致シマス、私ハ高橋サシノヤウニ先例等ハ實ハ甚ダ暗イノデアリマスガ、委員會ヲ進メテ行キマスルトキハ、第一日ハ政府ノ提案ノ説明ト資料ノ提出要求デ止メルトカ、或ハ續イテ質疑ヲスルトカ云フノハ、理事ノ方ト何時デモ御相談シテ、ソレデ進メテ行ク慣例ダト承知シテ居ルノデアリマス、ソレデ前ノトキハ、今日ハ資料ノ提出要求マデ散會シヨウト云フ理事ノ申合セデアツタモノデアリマスカラ、其ノ通りヤリマシタ、先達テハ續イテ質問ニ入ラウ、斯ウ云フ理事ト打合セデアリマシタカラ、其ノ通り進ミマシタ、ソレカラ成程何遍モ引合ニ出シテ惡カツタカモ知レマセヌガ、順位ガ來テ、サウシテ其ノ次ニ段々次ノ順ヲヤツテ、サウシテ皆通告ノ順ガ終ツタノデアリマス、ソレデ其ノ次ニ討論ニ入ラウト云フ約束ヲ致シテ居ツタノデアリマスカラ、是モ理事トノ御打合ヲ致シテ居ツタノデアリマスカラ、ソコデ特ニ簡單ナル御質問ナラバ討論ノ前ニヤルト云フコトヲ言ツテ、餘地ヲ殘シテ散會シタ積リデアリマス、ソレデ御諒承ヲ願ヒマス

○高橋(壽)委員 御話ノ點ハ能ク分リマシタ、惡意デヤラレタコトデナイコトハ、私軍人仲間デ能ク承知致シマスガ、少シハツキリシ過ギルト思ヒマス、私ガ申上ゲナケレバ皆遠慮シテ居ラウト思フ、アナタハ理事ト御相談ニナレバ、ソレデ宜イト云フ御考デスケレドモ、理事ト云フモノハ、委員會ノ先例ニ依ツテモ、何ヲスルト云フコトハ書イテアリマセヌ、唯委員長缺席ノ際ニハ之ヲ代理スルト云フダケデ、參謀デアリ、幕僚デアリ、通信機關デアリマスケレドモ、理事ト話ヲシテ、ソレデ済ムト云フノデハ、少クトモアナタノヤリ方ハ寡頭政治デアル、非常ニ軍人バナレガシ過ギマス、此ノ點一ツオ五ニ注意シタイト思ヒマス、是デ私ノ質問ヲ終リマス

○八角委員長 ソレデハ中田君ノ質問ヲ許シマス

○中田委員 私此ノ機會ニ大臣ニ御伺致シタイコトハ、前議會ニ於テ成立致シマシタ重要礦物増産法ノ效果如何ト云フコトデアリマス、是ハ考ヘテ居ツタヤウナ效果ガアツタトカナカツタトカ云フ抽象的ノ御答デ結構デアリマス、更ニ今回御提案ニナリマシタ會社ノ設立ハ、増産ニ對スル商工當局ノ御考ニナツテ居ル最後案ト云フノモ強過ギルカモ知レマセヌガ、更ニ此ノ會社ヲ設立シテ色々ナ方法ヲ講ジテモ、尙ホ開發出來ナカツタ場合ニハ、何カ案ヲオ持チニナツテ居ルカドウカ、此ノ點ヲ先ヅ伺ヒマス

○小金政府委員 前議會ニ於キマシテ御協

贊ヲ得マシタ重要礦物増産法ノ施行狀態ハ、簡單ニ申シマス、事業計畫ヲ此ノ法律ニ於テ執ルコトガ出來ルト云フコトハ、我國ノ重要礦物増産上非常ナル役割ヲ果シテ居リマス、尙ホ休眠礦區ヲ活用セシメルヤウナ意味ニ於ケル二三ノ規定ハ、相當活用致シテ居リマス、唯豫定シタ通りニ、ソレガ商工大臣ノ裁決トカ決定ヲ求メルヤウナコトニマデ立至ラズニ、其ノ目的ヲ達成致シテ居リマス、第二ノ此ノ會社ヲ設立スルコトニ至リマシタ經過トシテ、銅其ノ他ノ重要礦物増産ノ手段トシテ、此ノ會社ヲ設立スルコトニ依ツテ満足シ得ルモノト思フカト云フ御質問デアリマスガ、是ハ何箇年カノ計畫ニ對シテ目標數字ニ達成スル爲ノ、一ツノ有力ナル手段トシテ考ヘタノデアリマシテ、是ダケデ勿論満足スベキモノトハ考ヘテ居リマセス、必要ガアレバ他ノ方法ヲ講ズルコトト存ジマスガ、本議會ニ對シテ御協賛ヲ御願スル案トシテハ、是ダケダト存ジマス、尙ホ重要礦物増産法ヲ更ニ活用スル爲ニ、此ノ帝國礦發會社ト云フヤウナ機關ハ極メテ必要ナモノデアルト考ヘテ居リマス

ナコトニ付テハ、今相當ノ效果ガアツタト云フコトヲ承ツタノデアリマスガ、而シテ又今回ノ開發會社ガ成立致シマス、中小鑛業家ニ對スル資金ノ援助等モ出來マシテ、其ノ點ニ付キマシテハ、非常ニ鑛山ノ開發上資スル所大ナルモノガアラウト考ヘテ居リマス、唯併シ現在ニ於テハ、ソレダケデハ到底急速ニ時局ニ應ズルヤウナ鑛山ノ開發ハ出來得マイ、要スルニ物ト人トノ問題デハナカラウカ、鑛業開發ニ對スル物資ノ供給、更ニ又技術家、鑛夫、是ガ非常ニ重要ナ問題デアルト私共ハ考ヘテ居リマス、鑛山技術家ニ對シマシテハ、高等工業學校ノ設立、其ノ他大學、專門學校ノ採鑛冶金科ノ擴張、其ノ他ニ付テ對策ヲ御執リニナツテ居ルヤウデアリマスガ、其ノ下ニ於ケル從業員、鑛夫ノ問題ニ付テハ、マダ如何ナル御對策ヲ執ツテ居ルカ御聽キスルコトガ出來ナイノデアリマスガ、先般モ鑛業法中改正法律案ノ委員會ニ於キマシテ、川俣委員カラ此ノ點ハ縷々追求サレタノデアリマス、私共是ハ全然同感デアリマス、如何ニ此ノ會社ヲ設立致シマシテ、會社ノ力デ鑛業ノ經營ヲスルト致シマシテモ、鑛夫ガナケレバ到底鑛山ノ開發ハ出來得ナイト考ヘテ居リマス、現在ノ鑛山ノ狀態ニ付テ見

マスト、モウ殆ド熟練鑛夫ト云ヒマスカ、ソレガ全ク爭奪戰デアリマシテ、待遇ノ良イ大キイ鑛山ヘドン／＼引張ラレテ行ツテ中小鑛業家ト云フモノハ、其ノ爲ニ仕事ガ出來ナイト云フヤウナ狀態ニナツテ居ルノデアリマス、鑛夫ト云ヒマシテモ、色々話ヲ聽イテ見ルト、鐵道ノ隧道ヲ掘ツタ鑛夫ナドハ、坑ヲ掘ルニハ特ニ經驗ヲ持ツテ居ル、併シ彼等ハ自分達ガ仕事ヲシヨウトスル爲ニ相當大キイ坑ヲ掘ツテ行ク、普通ノ熟練シタ鑛山鑛夫ナラバ、其ノ半分ノ坑道デモ仕事ガ出來ルノニ、倍モ大キイ坑道ヲ掘ツテ行カナケレバ仕事ガ出來ナイト云フ關係カラシテ、非常ニ鑛業家トシテハ經費ガ掛ツテ效果ガ學ライ、更ニ又掘ツタ鑛石ニ付テモ、少シモ見分ケガ付カナイカラ、大事ナ鑛石ヲ半分モ土ト共ニ棄テシマフト云フヤウナ譯デ、鑛夫ノ如何ハ鑛業ニ重大關係ヲ持ツテ居ルト云フコトデアリマス、ソコデ私伺ヒタイト思ヒマスコトハ、鑛夫ノ養成ニ對シテ何カ御對策ヲ持ツテ居ルカドウカ此ノ點ヲ承リタイ

御尋ノ鑛夫ノ點ニ付キマシテハ、所謂現場係員ト云フヤウナ者ガ非常ニ不足シテ居リマス、即チ一種ノ熟練鑛夫デアリマスガ、之ヲ増産ノ線ニ沿ウテ勘定シテ見マスト相當數足リマセス、ソコデ昨年から石炭ニ付テ九州、北海道、金屬ニ付テ四箇所、ソレゾレ現場係員ノ養成施設ヲセシメテ、之ニ政府ガ設備費其ノ他相當ノ補助金ヲ年々交付致シマス、ソレニ依ツテ數百人ノ熟練鑛夫或ハ現場係員ト云フヤウナモノヲ養成サセタイト思ツテ居リマス、尙ホ國家總動員法其ノ他ノ規定ノ運用ニ依リマシテ、一定規模以上ノ鑛山ニ對シテハ、鑛夫ノ養成ニ力ヲ致サシメル豫定デゴザイマス

○中田委員 只今御話ノ養成所ハ、商工省デ設立サレル豫定デゴザイマス、或ハ又他ノ縣廳其ノ他ノ諸團體ニヤラサレル譯デアリマス

○小金政府委員 御尋ノ趣旨ガ分リマセスガ、昨年カラ、石炭ニ付テ二箇所ノ養成所ヲ設ケシメテ、之ニ獎勵金ヲ交付シ、金屬ニ付テモ四箇所ノ養成所ヲ設ケシメテ、之ニ獎勵金ヲ以後數年交付スルト云フコトニナツテ居リマス、尙ホ國家總動員法ノ關係ノモノハ、是カラ考ヘルト云フコトデゴザイマス

○中田委員 重要礦物増産法ニ於テ、國家ノ權力ニ依ツテ休眠礦區ノ活用ト云フヤウ

○中田委員 私ノ御尋スルノハ、設立ノ主體ハ何デアルクト云フノデス

○小金政府委員 石炭ニ付テハ同業者ノ團體、金屬ニ付テハ大會社ヲシテ其ノ「サービス」ヲセシメテ居ル譯デアリマス

○中田委員 私ハドウシテモ睡眠鑛區ノ開發ノ爲ニハ、中小鑛山家ヲ度外視スルコトハイケンイト思フデアリマス、中小鑛山家ハ資金ニ於テモ困ツテ居リマスケレドモ、ヤハリ人ニ困ツテ居ルト云フ實情デゴザイマス、只今モ承リマスルト、養成所ハ大鑛山等ノ「サービス」ト云フ意味デ、國家ガ助成シテ設ケシメテ居ルト云フ御話デゴザイマスガ、サウ云フ大鑛山デ養成シタ者ハ、ヤハリ其處ノ山ニ使用サレノデアツテ、他ニハ到底行ケナイ、斯ウ云フ結果ニナルガラウト思ヒマス、此ノ點ニ付テ中小鑛山家ニ對スル從業員ノ考慮ヲ圖ル必要ガアルト私ハ考ヘテ居リマスガ、此ノ點ニ付テノ御尋ヲ致シマス

○小金政府委員 石炭ニ付テハ勿論デアリマスガ、金屬ニ付キマシテモ三井、三菱、住友、日本鑛業ト云フ所ニ、養成ノ設備其ノ他萬端ノ經費ヲ出サセマシテ、之ヲ政府ガ助成致シテ居リマス、此ノ養成所ニ於テ養成スル現場係員等ノ如キ者ハ、全部其ノ

會社デ取ツテシマフ譯ニハイカナイノデ、適當ニ方々ノ山ニ配分サスベク、コチラガ指揮ヲスルノデゴザイマス

○中田委員 私ノ考ハ局長ノ御考ニナツテ居ルヨリ、更ニ一段ノ從業員ノ養成ガ大事デヤナイカト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマスガ、現場係員ヨリ以下ノ、實際鑛ヲ振ツテ鑛石ヲ掘ル鑛夫ノ養成ガ必要デハナカラウカ、ソレハ實際家カラ聞カサレタコトデアリマシテ、ヤハリ此ノ養成ヲシナケレバ、到底急速ナ開發ガ出來得ナイト考ヘルノデアリマス、此ノ點ニ付テハ尙ホ十分御考究ヲ願ヒタイト思ヒマス、次ニ簡單ニ御尋致シタイ點ハ、中小鑛山家ニ對シテ、例ヘバ中小商工業者ニ對スル工業組合、商業組合ノ如キ制度ヲ置イテ、彼等ニ色々ナ共同設備、若クハ材料ノ共同購入、其ノ他色々ノ斯ウ云フヤウナ施設ヲ助成援助シテヤルコトガ、非常ニ效果アルモノダト考ヘテ居リマスガ、此ノ點ニ付テ何カ御考ガアリマスナラバ承リタイ

○小金政府委員 中小鑛山業者ノ組合結成、其ノ他ノ團體の行動ニ關シマシテハ、十數年前カラ研究致シテ居リマス、所ガ石炭山ハ別トシテハ、金屬山ノ如キハ其ノ消長ガ甚シイノデ、中々共同施設ヲヤルト申シ

マシテモ、初メノ出ガ宜クテモ、脈ガ細ルトカ、其ノ他中々歩調ガ合ハナイト云フヤウナ點モアルヤウデアリマス、ソコデ未ダ中小鑛山業者ニ付テ特ニ組合制度ト云フヤウナモノハ、鑛業法上現ハレテハ居リマセヌガ、是ガ何等カ團體トシテ行動セラレ、又其ノ方ガ便利デアリ、或ハ之ニ何等カノ施設ヲ附加スルコトガ便利デアリマスレバ、ソレハ御説ノ通り増産ニモ資スル所ガアルト存ジマスカラ、十分考究致シタイト存ジマス

○中田委員 只今ノ點ハ恒久的ナ設備デナクテモ、臨時一時ノ措置デアツテモ、其ノ點ニ付テ十分御考究ヲ御願シタイト思ヒマス、次ニ増産ニ現在中小鑛山ガ十分ナ活動ヲシテ居ナイ點ハ、結局ハ採算ガ取レナイト云フコトニ歸著スルガラウト思ヒマス、其ノ點ニ對シテハ運搬費ノ輕減、其ノ他資金ノ融通等ニ依ツテ、之ヲ助成スルト共ニ、一方ニ於テハ現在製鍊所ヲ持ツテ居ル大鑛業家ニ對シテ、買鑛價格ノ引上——不當ナル引上ト云フコトハ要求スベカラザルモノト考ヘルノデアリマスガ、之ヲ單ニ大鑛業者ト中小鑛業者トノ間ニ任意的ノ取引ヲサセズニ、政府ガソコニ關與シテ、適當ナ價格ヲ以テ買鑛サセルト云フコトノ必要ガア

ルト考ヘルノデアリマスガ、此ノ點ニ付テノ御意見ヲ御伺致シマス

○小金政府委員 最後ノ買鑛價格ノ引上、特ニ適正ナル價格デ買取ラシメルト云フコトヲ此處デ私ガ申上ゲマス、何カ買鑛スル方デ胡麻化シテ居ルヤウニ御取リニナルト困リマスケレドモ、是ハ實ハ「サンプル」ノ方法ニ依ツテ、色々問題ガ起ツテ來ルノデアリマス、只今ノ所鑛山監督局當局ニ於テ調べマシタ所、買鑛ニ於テ不正ハ一件モゴザイマセヌ、ソレハ「サンプル」ノ取リ方ニ非常ニ甲乙ガアリマシテ、鑛石ヲ賣ル人ハ非常ニ良イ鑛石デアルト信ズルカラコソ、送り込ンデ賣ルノデアリマス、買フ方デ此ノ資料ヲ取ツテ分析ニ掛ケテ見マス、思ツタ通りノ分析ノ結果ガ出ナイカラ、胡麻化サレタト云フ風ナ爭モ間々アルヤウデアリマス、ソコデ政府ノ機關トシテ分析ヲスル者ヲ鑛山地帶ノ各所ニ置クト云フコトモ、容易ナラヌノデアリマス、私共ノ考デハ、此ノ帝國鑛業開發株式會社ガ成立致シマシタナラバ、既存ノ製鍊所ノ買鑛關係ノ設備ヲ買取ツテ、半官半民ノ會社デヤツタラ宜カラウト思ヒマス、ソレニ付テ今ノヤウナ買鑛ニ付テ「トラブル」ガ非常ニ起ルノデ業者ハ寧ロ此ノ會社ガ國家の立場カラヤツテ

モ斯ウダト云フコトヲ、ハツキリ示シテ貰ヒタイト云フ御意向モ相當強イヤウデアリマス、是モ成立ヲシタ、或ハ成立ニ際シテ考ヘタイト思ツテ居リマス、尙ホ中小鑛山業者カラ見マスルト、今官協サンノ御説ニモアリマシタガ、運搬費ノ輕減トカ、兎ニ角鑛石ガ成ベク割高ニ買ツテ貰ヘル、要スルニ「コスト」ガ下ルヤウニシテ貰ヒタイト云フコトハ、非常ニ切ナル御希望ト存ジマス、サウ云フヤウナ點ニ付キマシテモ、此ノ帝國鑛發會社ヲ十分活用サセル餘地ガアルト私共考ヘテ居リマス

○中田委員 私ノ質問ハ時間ノ關係モアマリシテ、是デ終リト致シマス、唯申上ゲマシタコトハ、要點ヲ申上ゲタダデアリマスカラ、色々ナ點ニ付テ十分御考究ニナツテ、所期ノ目的ヲ達スルヤウニ御願致シマス

○高橋(壽)委員 關聯シテ一寸……、今中田委員カラノ御質問デアリマシタガ、鑛山開發或ハ重要鑛物ノ製鍊ニ關スル人ノ問題デアリマス、是ハ鑛夫カラ又鑛夫長モアリマセウシ、鑛山技師モアリマセウ、製鍊所ノ技師モアリマセウ、サウ云フ人達ガ可ナリ多數應召シテ居ルノデアリマス、今度ノ應召ハ比較的年ノ行ツタ人ガ先ニ應召サレ

マシタノデ、是等ノ生産力擴充ノ上ニ於テ、非常ニ動搖ヲ來シタノデアリマス、幸ヒ此ノ頃老年ト云ヒマスカ、高年者ノ凱旋ガアリマスノデ、漸次是カラハ緩和サレルトハ思ヒマスガ、何様非常ナル速度デ鑛物ノ増産ヲ圖リ、之ヲ又立派ニ製鍊仕上ゲルト云フニハ、應召サレテ居ル軍人ノ一部デモ、

何カ早クサウ云フ産業ニ參加ノ出來ルヤウナ風ニ御手配ガ出來ナイモノカ、而モ此ノ事ハ非常ニ「デリケート」ナ問題デアリマシテ、第一線ニ立ツテ居ル者ヲ、營利事業視サレテ居ルヤウナ所ニ引戻スト云フコトハ、見ヤウニ依ツテハ重大ナル問題モ惹起スノデアリマスカラ、是ノ善處方ニハ相當考慮ヲ要スルコトト存ジマス、私共ノ聞イテ居リマシタノハ、事變ノ當初或ル製造會社ガ中樞ノ人物ヲ失ツタガ爲ニ、軍部ノ方ニ御願ヲシテ、若干歸還セシメラレタノデアリマスケレドモ、ソレ等ノ人々ハ仲間ノ者ニ會ハス顔ガナイト言ツテ會社ニ出ナイ、折角呼返シテ貰ツテモ働キガ出來ナカツタト云フ實情ガアリマス、是モ亦日本人トシテハアリサウナコトデ、洵ニ心持ハ結構ナコトデアリマスガ、能ク國家ノ大局カラ考ヘテ、サウ云フ樞要缺クベカラザル技術者ハ、何トカ方法ガ講ゼラレナイモノデアラ

ウカ、ソレニ對シテ政府ハ如何ニ御考ニナルカ、其ノ點ヲ簡單ニ御示ヲ願ヒタイノデアリマス

○小金政府委員 今ノ問題ハ洵ニ重要デアリ、且ツ「デリケート」デアルト思ヒマス、國家總動員ノ立場カラ申シマス、各人ガ其ノ能力ヲ百「パーセント」ニ發揮シテ、國ニ御奉公スルノガ一番宜イト思ヒマス、併シナガラ應召ハ特別ノ國民ノ義務デアリマスノデ、其ノ取扱ニ付キマシテハ、私共ハ非常ニ慎重ヲ期シテ居リマス、尙ホ軍ノ方カラ申セバ、動員ノ關係ト存ジマスガ、ソレニ付テハ私共ノ意ノアル所ハ、今マデモ通ジテ居リマスガ、今後モ十分其ノ點ニ付テ意ヲ用ヒテ連絡ヲ執リタイト思ヒマス

○八角委員長 本日ハ之ヲ以テ散會致シマス、次回ハ公報ヲ以テ御知ラセ致シマスガ明日午前十時ノ豫定デアリマス

午後六時十三分散會